

平成 28 年 度

全国学校保健調査集計結果報告

公益社団法人 日本薬剤師会
学 校 薬 剤 師 部 会
全 国 学 校 保 健 調 査 W G

平成 28 年 度
全国学校保健調査集計結果報告
 (公社)日本薬剤師会 学校薬剤師部会
 —— 全国学校保健調査WG ——

I. はじめに

全国学校保健調査は、全国の学校における環境衛生活動の実情を把握し、その充実や改善に役立てる目的で昭和47年から毎年調査項目を選定し実施されている。平成28年度の全国学校保健調査では、平成27年度の各学校における「学校環境衛生基準（平成21年文部科学省告示60号）」に基づいた飲料水の水質検査、貯水槽、雑用水について調査した。また、平成25年度から学校薬剤師及びその活動の実態を把握するために基礎的な設問を設定し、調査を継続しており、今年度から「環境衛生検査の実施状況について」を新たに追加した。

なお、今年度（平成28年度）は各学校の飲料水にかかる施設等の状況が地域や学校によって様々であることから、回答者間の認識を統一するために設問に関する解説を添付した。

II. 調査方法及び調査対象

調査対象は、全国の大学以外すべての学校とし、中高一貫校、小中併設校は、それぞれ高等学校、中学校、小学校1校とした。

調査票（表2-1及び2-2）は、各都道府県薬剤師会等を通じて各学校に配布した。調査票の記入は、原則として担当学校薬剤師が行い、担当学校薬剤師が記入できない場合は、各学校に協力を求めた。

調査票は、各都道府県薬剤師会等を通じて回

収し、(公社)日本薬剤師会学校薬剤師部会の広報WGが集計し、結果をとりまとめた。

全国の大学以外のすべての学校（認定こども園を含む）は51,473校ある。これらの学校のうち45,914校に対して各都道府県薬剤師会から調査票を配布し、回答のあった32,730校から、学校の種類等の基本データの欠落による集計不能分を除いた32,692校の回答（有効回答率：99.88%）を対象に集計を行った。

集計結果は、各設問における有効回答数に対する百分率で示し、少数点以下2桁目を四捨五入した。また、今回の集計結果のグラフから、サンプル数「n」を記載した。

表1 学校設置数、有効回答数及び回答率（学校種別・学校設置区分）

有効回答数 (設置数*)	学校設置区分				回答率(%)
	国立	公立	私立(組合立)	合計	
幼稚園	25 (49)	2,328 (4,127)	301 (7,076)	2,654 (11,252)	23.6
認定こども園	0 (0)	334 (452)	420 (2,370)	754 (2,822)	26.7
小学校	60 (72)	16,589 (20,011)	87 (230)	16,736 (20,313)	82.4
中学校	51 (73)	7,853 (9,577)	176 (776)	8,080 (10,426)	77.5
全日制高等学校	10 (15)	2,757 (3,445)	354 (1,317)	3,121 (4,777)	65.3
定時制高等学校	1 (0)	404 (620)	8 (29)	413 (649)	63.6
特別支援学校	29 (45)	849 (1,067)	1 (13)	879 (1,125)	78.1
高等専門学校	24 (51)	4 (3)	0 (3)	28 (57)	49.1
中等教育学校	3 (4)	21 (31)	3 (17)	27 (52)	51.9
合計	203 (309)	31,139 (39,333)	1,350 (11,831)	32,692 (51,473)	63.5
回答率(%)	65.7	79.2	11.4	63.5	

*平成28年度学校基本調査報告書（文部科学省）
 「中学校」は中学校+義務教育学校、「全日制高等学校」は全日制+併置(全日制と定時制の両方の課程を設置している学校)+義務教育学校、「定時制高等学校」は定時制と併置を合わせた数値から算出

平成28年度全国学校保健調査設問 (平成27年4月～平成28年3月までの活動報告)

コピー不可

—平成27年度の飲料水（水源・定期検査・水槽・給水器具）、雑用水—

公益社団法人日本薬剤師会・学校薬剤師部会

記入・取扱上の注意	1. 記入は必ず 黒 の黒鉛筆で正確に塗りつぶしてください。 2. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。 3. 用紙を汚したり、折り曲げたり、穴を開けたりしないでください。	4. 用紙をクリップやホッチキスで留めないでください。 記入例 良い例 ●●●●●●●●●● 悪い例 ○○△▽◇
------------------	--	---

***調査方法、集計結果の発表等について**

1. この調査は学校薬剤師が行います。
2. この調査は平成27年度に行った活動結果についてお答えください。
3. 調査結果は集計した結果のみ発表し、個々の学校について発表することはありません。
4. この用紙は、一校につき一枚ずつ記入してください。
 例えば、幼稚園と小学校が同一校地内にある場合、全日制高等学校と定時制高等学校が同一校舎を使用している場合、別の場所に分校がある場合、小中高等学校が一貫教育である場合などは、それぞれの学校につき一枚ずつ記入してください。
5. この調査についてのご質問や、記入済みの用紙のご提出は、各都道府県薬剤師会（学校薬剤師会）を通じてお願いします。

学校名	正式名で記入 (ゴム印が望ましい)	児童生徒数	人
所在地			
学校教職員の職名及び氏名			
学校薬剤師氏名	薬剤師名簿登録番号	第 号	日本薬剤師会会員ですか はい・いいえ
調査年月日	平成 2 8 年 月 日		

***基本データ（漏れなくマークしてください。マーク漏れがあると集計より除外されます。）**

A	学校設置区分 ① 国立 ② 公立 ③ 私立（組合立を含む）	
B	学校の種類 ① 幼稚園 ② 認定こども園 ③ 小学校 ④ 中学校 ⑤ 全日制高等学校 ⑥ 定時制高等学校 ⑦ 特別支援学校 ⑧ 高等専門学校 ⑨ 中等教育学校	
C	児童生徒数 ① 50人未満 ② 50人以上300人未満 ③ 300人以上500人未満 ④ 500人以上	
D	都道府県コード (ゼロもマークするようにしてください)	十の位 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ 一の位 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
E	市町村コード（全国地方公共団体コード） (ゼロもマークするようにしてください)	千の位 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ 百の位 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ 十の位 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ 一の位 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

***基本データ（続き）**

1-1	学校薬剤師の本務の職場について ① 薬局（開設者） ② 薬局（勤務者） ③ 病院・診療所 ④ 卸 ⑤ 行政 ⑥ 製造管理 ⑦ 検査機関 ⑧ 教職員 ⑨ 無職 ⑩ その他（ ）
1-2	本校の体育・保健体育科、特別活動等における医薬品の授業や講演等の実施状況について ① 体育・保健体育科と特別活動等の両方で実施 ② 体育・保健体育科でのみ実施 ③ 特別活動等でのみ実施 ④ 実施していない
1-3	学校保健計画における環境衛生検査の記載状況について ① 記載あり ② 記載なし
1-4	環境衛生検査の実施状況について ① 学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した ② 一部実施していない項目がある ③ まったく実施していない ④ 分からない
2-1	平成27年度における出校日数について（電話応対を含む） ① 12日以上 ② 11～8日 ③ 7～4日 ④ 3～1日 ⑤ 0日
2-2	出校した人（2-1で⑤以外）にお伺いします。（2-1で⑤の人はAへ） 出校目的について（複数回答可） ① 定期検査 ② 臨時検査 ③ 学校保健委員会への参画 ④ 保健教育に関する講話・講演及び支援 ⑤ その他
2-3	定期検査のために出校した人（2-2において①に印をつけた人）にお伺いします。 学校薬剤師の学校環境衛生基準に基づく定期検査への関与状況について ① 学校で実施しているすべての検査項目においてサンプリングや測定を自ら行う ② 一部の検査項目ではサンプリングや測定を自ら行うが、検査項目によっては他者が行うサンプリングや測定に対する指導助言のみの場合もある ③ 他者が行うサンプリングや測定に対する指導助言のみ
2-4	学校保健委員会に参加した人（2-2において③に印をつけた人）にお伺いします。 議事における環境衛生に関する指導助言等の有無について ① あった ② なかった
2-5	保健に関する講話・講演及び支援を行った人（2-2において④に印をつけた人）にお伺いします。 講話・講演及び支援の題材について（複数回答可） ① 医薬品 ② 喫煙、飲酒防止 ③ 薬物乱用防止 ④ 学校環境衛生 ⑤ その他

（裏面にも回答欄があります）

表2-2

A. 平成27年度における飲料水の品質検査についてお伺いします。

A-1	主に飲料水として利用している水（給食施設を除く）について ① 上水道等、他の施設から給水 → (A-2へ) ② 学校が自ら所有する井戸水等 → (A-10へ)
A-2	A-1で①に印をつけた人にお伺いします。貯水槽（受水槽、高置水槽等）の有無について ① 貯水槽あり → (A-3へ) ② 貯水槽なし（直結給水のみ） → (C-1へ)
A-3	A-2で①に印をつけた人にお伺いします。学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施状況について ① 学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した → (A-5へ) ② 実施したが、一部実施しなかった項目がある → (A-4へ) ③ まったく実施しなかった → (B-1へ) ④ 分からない → (B-1へ)
A-4	A-3で②に印をつけた人にお伺いします。実施された水質検査の項目について（複数回答可） ① 一般細菌 ② 大腸菌 ③ 塩化物イオン ④ 有機物等 ⑤ pH値 ⑥ 味 ⑦ 臭気 ⑧ 色度 ⑨ 濁度 ⑩ 遊離残留塩素
A-5	A-3で①又は②に印をつけた人にお伺いします。水質基準に不適な項目について（複数回答可） ① 一般細菌 ② 大腸菌 ③ 塩化物イオン ④ 有機物等 ⑤ pH値 ⑥ 味 ⑦ 臭気 ⑧ 色度 ⑨ 濁度 ⑩ 遊離残留塩素 ⑪ すべて適合 A-5で⑪以外に印をつけた人 → (A-6へ) A-5で①に印をつけた人 → (A-8へ)
A-6	A-5で⑪以外に印をつけた人にお伺いします。不適合項目の指導・助言について ① 行った → (A-7へ) ② 行わなかった → (A-12へ)
A-7	A-6で①に印をつけた人にお伺いします。指導・助言による改善について ① すべて改善した ② 一部改善した ③ 改善しなかった ④ 分からない
A-8	A-3で①又は②に印をつけた人にお伺いします。水質検査の採水及び測定の実施者について ① 採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定はすべて学校薬剤師が実施 ② 採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定は薬剤師と検査機関が分担して実施 ③ 採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定はすべて検査機関が実施 ④ 採水、測定共に検査機関が実施 A-8で②に印をつけた人 → (A-9へ) A-8で①、③又は④に印をつけた人 → (A-12へ)
A-9	A-8で②に印をつけた人にお伺いします。学校薬剤師が測定を実施した水質検査の項目について（複数回答可） ① 一般細菌 ② 大腸菌 ③ 塩化物イオン ④ 有機物等 ⑤ pH値 ⑥ 味 ⑦ 臭気 ⑧ 色度 ⑨ 濁度 ⑩ 遊離残留塩素
A-10	A-1で②に印をつけた人にお伺いします。専用水道が実施すべき水質検査項目及び遊離残留塩素の実施状況について ① 基準に定められたすべての項目を実施した → (A-12へ) ② 実施したが、一部実施しなかった項目がある → (A-11へ) ③ まったく実施しなかった → (A-11へ) ④ 分からない → (A-11へ)
A-11	A-10で①以外に印をつけた人にお伺いします。専用水道が実施すべき水質検査項目及び遊離残留塩素の実施の改善について ① 学校又は設置者に改善を申し入れた ② 改善の申し入れを行わなかった
A-12	A-3で①又は②及びA-10で①又は②に印をつけた人にお伺いします。水質検査結果（過去5年間）の記録の保存について ① 実施された検査の結果をすべて保存していた ② 一部保存していた ③ 保存していなかった

B. 飲料水の貯水槽（主なもの1つ）についてお伺いします。

B-1	貯水槽設置の形態について ① 架台上にあり全外観をみることができる ② 底面、あるいは一部の面が地面、建物に接しているため外観をみることができない部分がある ③ 全体、あるいは一部が地中に埋め込んである ④ その他 ⑤ 直結給水のみで貯水槽がない（Cへ進んでください）
B-2	水槽内部の清掃回数について ① 毎年1回 ② 2年に1回 ③ 3年以上に1回 ④ 分からない
B-3	受水槽の周りの状況について ① 清潔である ② 清潔でない ③ みることができない

C. 雑用水に関する施設についてお伺いします。

C-1	雑用水に関する施設について ① 施設・設備がある ② 施設・設備がない（以上で質問は終了です）
C-2	雑用水の水質検査について ① 基準に定められたすべての項目（pH値・臭気・外観・大腸菌・遊離残留塩素）を実施した ② 一部実施していない項目がある ③ まったく実施していない
C-3	雑用水の日常点検について ① 基準に定められたすべての項目（遊離残留塩素・外観・臭気）を実施した ② 一部実施していない項目がある ③ まったく実施していない

ご協力ありがとうございました。

表3 都道府県別有効回答数

	幼稚園	認定こども園	小学校	中学校	全日制高等学校	定時制高等学校	特別支援学校	高等専門学校	中等教育学校	合計
	園数	園数	学校数	学校数	学校数	学校数	学校数	学校数	学校数	総数
北海道	64	13	529	300	104	9	37	2	1	1,059
青森	15	94	249	132	60	7	19	1	0	577
岩手	50	0	332	165	70	8	17	1	0	643
宮城	19	0	292	157	60	5	18	1	1	553
秋田	19	32	191	112	52	6	14	1	0	427
山形	18	7	209	83	42	5	12	0	0	376
福島	1	1	441	216	80	5	16	0	0	760
茨城	100	16	339	148	75	4	19	1	3	705
栃木	19	4	359	154	64	5	16	1	1	623
群馬	48	0	279	142	54	4	21	0	2	550
埼玉	71	1	800	412	137	23	40	0	0	1,484
千葉	76	19	719	348	125	8	40	1	0	1,336
東京	102	10	1,138	558	133	40	47	0	3	2,031
神奈川	24	4	732	341	123	18	34	0	2	1,278
新潟	26	9	413	200	84	10	29	1	5	777
富山	24	3	165	63	35	3	14	0	0	307
石川	2	1	167	66	40	4	10	1	0	291
福井	5	9	154	58	21	6	6	0	0	259
山梨	1	0	91	44	10	2	4	0	0	152
長野	5	3	333	161	88	7	17	0	1	615
岐阜	77	22	289	141	46	7	13	1	0	596
静岡	149	78	477	265	113	14	30	1	0	1,127
愛知	59	7	917	390	141	31	32	2	0	1,579
三重	134	2	336	137	56	4	16	2	0	687
滋賀	99	25	179	82	40	4	12	0	0	441
京都	58	4	332	162	77	12	23	1	0	669
大阪	267	46	945	464	193	20	44	1	0	1,980
兵庫	320	128	714	329	136	23	41	2	2	1,695
奈良	111	20	172	87	30	4	10	0	2	436
和歌山	26	9	207	105	35	8	10	0	0	400
鳥取	4	13	113	56	25	4	10	0	0	225
島根	41	4	133	66	25	3	11	0	0	283
岡山	125	16	215	86	33	8	9	0	0	492
広島	38	8	378	195	59	10	12	1	1	702
山口	32	12	277	144	64	8	12	1	1	551
徳島	79	6	159	72	26	2	7	0	0	351
香川	97	12	134	50	24	2	6	1	0	326
愛媛	14	5	158	75	35	2	6	0	0	295
高知	5	3	100	51	19	8	7	0	0	193
福岡	18	3	708	319	102	22	36	2	1	1,211
佐賀	0	0	171	97	44	6	9	0	0	327
長崎	17	3	316	164	60	8	19	1	0	588
熊本	53	8	349	161	73	8	17	0	0	669
大分	31	6	136	64	23	1	9	0	0	270
宮崎	12	41	232	133	44	4	16	1	1	484
鹿児島	99	47	474	199	78	3	15	0	0	915
沖縄	0	0	183	126	63	8	17	0	0	397
合計	2,654	754	16,736	8,080	3,121	413	879	28	27	32,692

Ⅲ. 集計結果及び考察

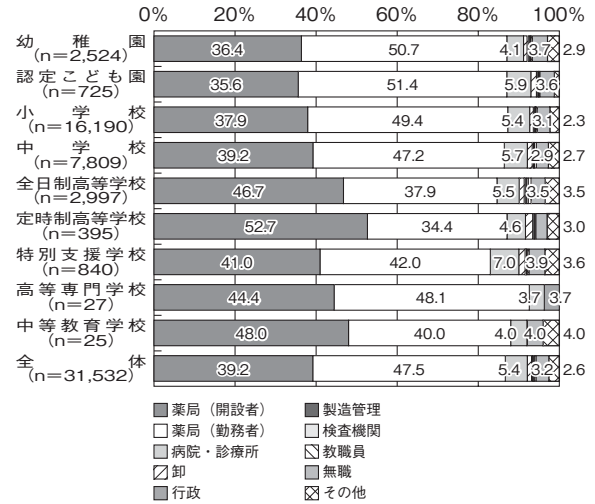
基-1-1 学校薬剤師の本務の職場について

〈*都道府県別データは26、27ページ参照〉

学校薬剤師の本務の職場は、薬局（開設者）39.2%、薬局（勤務者）47.5%、病院・診療所5.4%、卸1.0%、行政0.1%、製造管理0.3%、検査機関0.2%、教職員0.4%、無職3.2%、その他2.6%で、薬局関係者が全体の86.7%を占めていた。昨年度の調査結果と比較すると、その構成はほとんど変わっていない。昨年度（平成27年度）は「教職員」を選択肢として追加したところ3.0%であったが、今年度は0.4%に減少した。

都道府県別では、薬局（開設者）の割合が高かったのは、山梨県66.9%、岐阜県59.6%、高知県55.7%であり、山梨県と岐阜県は昨年度と同様上位であった。薬局（勤務者）の割合が高かったのは、新潟県59.9%、滋賀県58.0%、神奈川県57.6%であり、50%以上の県が昨年と比べて増加している。病院・診療所の割合が高かったのは、北海道及び秋田県であり、それぞれ23.1%及び19.5%であった。

1-1 学校薬剤師の本務の職場について



1-1 学校薬剤師の本務の職場について

	1. 薬局（開設者）	2. 薬局（勤務者）	3. 病院・診療所	4. 卸	5. 行政	6. 製造管理	7. 検査機関	8. 教職員	9. 無職	10. その他
幼稚園	36.4	50.7	4.1	0.9	0.2	0.5	0.2	0.4	3.7	2.9
認定こども園	35.6	51.4	5.9	1.4	0.0	0.4	0.1	0.3	3.6	1.2
小学校	37.9	49.4	5.4	0.9	0.1	0.3	0.2	0.4	3.1	2.3
中学校	39.2	47.2	5.7	1.2	0.1	0.3	0.3	0.5	2.9	2.7
全日制高等学校	46.7	37.9	5.5	1.2	0.1	0.4	0.5	0.7	3.5	3.5
定時制高等学校	52.7	34.4	4.6	1.8	0.0	0.5	0.0	0.3	2.8	3.0
特別支援学校	41.0	42.0	7.0	1.5	0.1	0.2	0.1	0.5	3.9	3.6
高等専門学校	44.4	48.1	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中等教育学校	48.0	40.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0
合計	39.2	47.5	5.4	1.0	0.1	0.3	0.2	0.4	3.2	2.6

基-1-2 本校の体育・保健体育科、特別活動等における医薬品の授業や講演の実施状況について

〈*都道府県別データは26ページ参照〉

医薬品に関する内容を授業等で取り扱った学校の割合は44.7%であった。その内訳は、体育・保健体育科でのみ実施が17.1%、特別活動等でのみ実施が16.1%、体育・保健体育科と特別活動等の両方で実施が55.3%であった。昨年度において、「取り扱った」と回答の割合は、全体では42.6%であり、今年度は2.1ポイント増加した。ここ数年、年々実施割合が高くなっているが、中学校及び高等学校では学習指導要領に基づき、保健体育科で必ず学習する内容となっていることを考えると、さらなる拡がりが見られる。

学校種別では、中等教育学校が62.5%と最も高く、中学校56.6%、全日制高等学校57.2%、定時制高等学校55.8%であった。都道府県別では、静岡県74.2%が昨年に続き最も高く、次いで佐賀県68.9%、熊本県65.3%であった。

基-1-3 学校保健計画に環境衛生検査の記載状況について

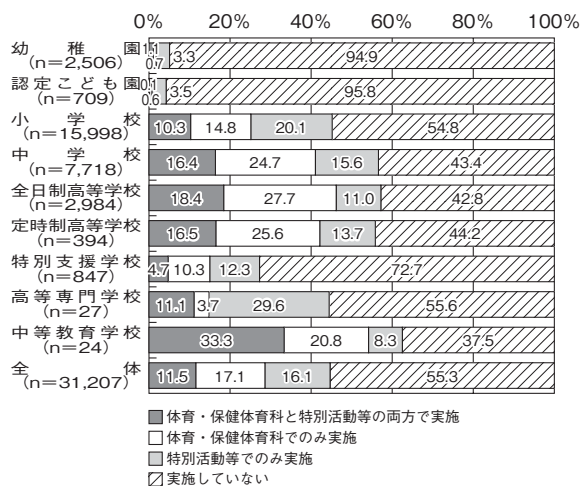
〈*都道府県別データは28ページ参照〉

学校保健計画に環境衛生検査が記載されている割合は、全国平均で89.3%であった。

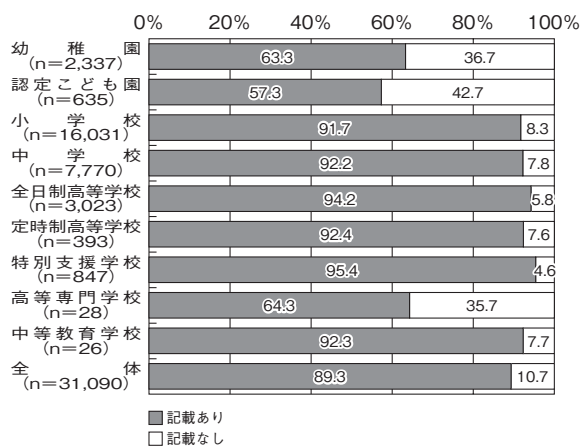
都道府県別では、佐賀県98.1%が最も高く、埼玉県97.4%、愛知県96.5%が続いた、一方、割合が低いのは、大分県65.6%、奈良県74.4%、北海道74.6%であった。

学校種別で割合が最も低かったのは、認定こども園で57.3%、次いで幼稚園の63.3%、高等専門学校が64.3%であった。その他は9割程で昨年と同様であった。

1-2 本校の体育・保健体育科、特別活動等における医薬品の授業や講演の実施状況について



1-3 学校保健計画に環境衛生検査の記載状況について



基-1-4 環境衛生検査の実施状況について

〈*都道府県別データは28、29ページ参照〉

今回新たに設問した学校環境衛生検査の実施状況については、「学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した」学校は40.1%であり、「一部実施していない項目がある」が56.1%で、合わせると96.2%が実施しているが、「まったく実施していない」が1.7%、「わからない」が2.1%であった。

学校種別では、認定子ども園と幼稚園、高等専門学校において「まったく実施していない」の割合が高くなっている。

都道府県別でみると、「まったく実施していない」は、奈良県10.5%、「わからない」は、大分県7.1%が高かった。学校保健安全法の第5条において、学校では、環境衛生検査の計画を策定し、実施することになっているので、100%実施に向けて、さらなる努力が必要である。

基-2-1 平成27年度における学校薬剤師の出校日数（電話対応を含む。）について

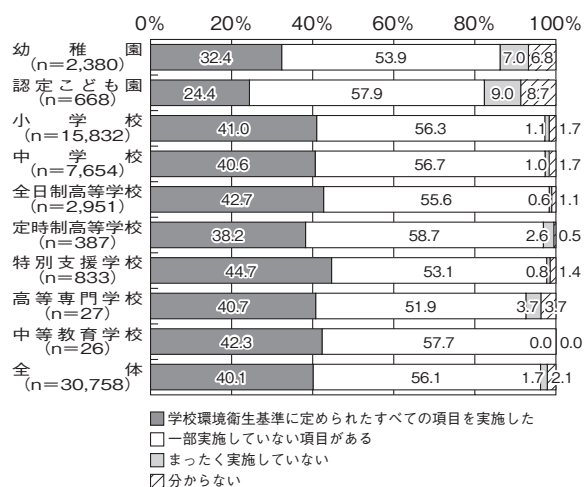
〈*都道府県別データは30、31ページ参照〉

学校薬剤師の年間出校日数は、「7～4日」と回答された割合が最も高く42.9%、次いで「3～1日」の21.2%、「11～8日」が19.8%、「12日以上」が14.4%、「出校なし」が1.7%であった。

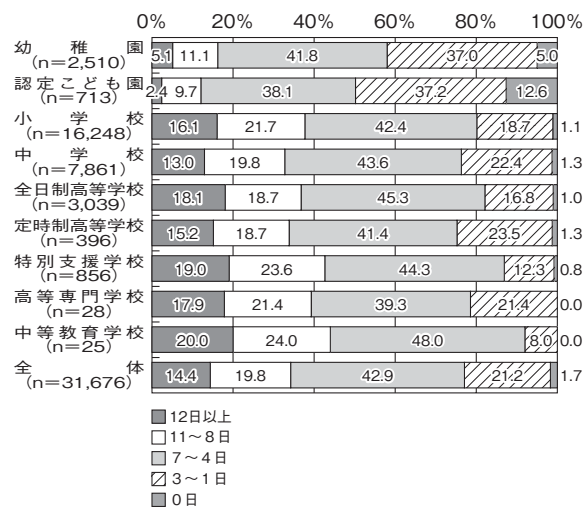
学校種別では、「7～4日」と回答された割合は、認定子ども園が38.1%で、それ以外でも約4割であり、昨年とほぼ同じであった。幼稚園・認定子ども園は「3～1日」の割合が他の校種よりも高く、それぞれ37.0%、37.2%であり、「0日」も幼稚園5.0%、認定子ども園12.6%と高かった。

都道府県別では、「12日以上」は東京都が52.2%と最も高く、次いで愛知県35.1%、神奈

1-4 環境衛生検査の実施状況について



2-1 平成27年度における学校薬剤師の出校日数（電話対応を含む。）について



川島31.2%であった。一方、「出校なし」が一番高かったのは、島根県13.3%、愛媛県11.9%、青森県9.5%の順であった。

都道府県別では、小学校13校、中学校18校、全日制高等学校31校が「0日」になっていた。電話対応を含めて「0日」とは、学校薬剤師活動が実施されていないことになり、問題解決の方策を探っていく必要がある。

基-2-2 出校した人にお聞きします。何が目的でしたか。(複数回答可)

〈*都道府県別データは32ページ参照〉

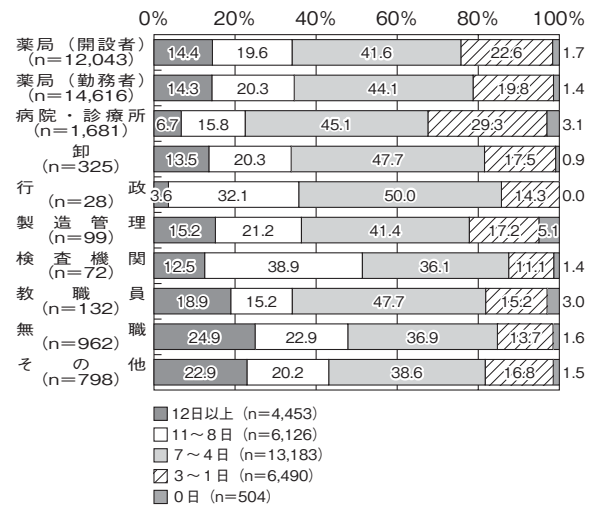
出校した目的は、「定期検査」と回答された割合が最も高く95.5%で、次いで、「学校保健委員会への参画」37.5%、「保健教育に関する講話・講演及び支援」26.1%、「臨時検査」9.9%であった。これらの割合は、例年と比較して大きな変化はなかった。

学校種別では、「定期検査」と回答された割合は、昨年同様、中等教育学校が最も割合が高く100%であった。一方、最も低かったのは、認定こども園92.5%であった。

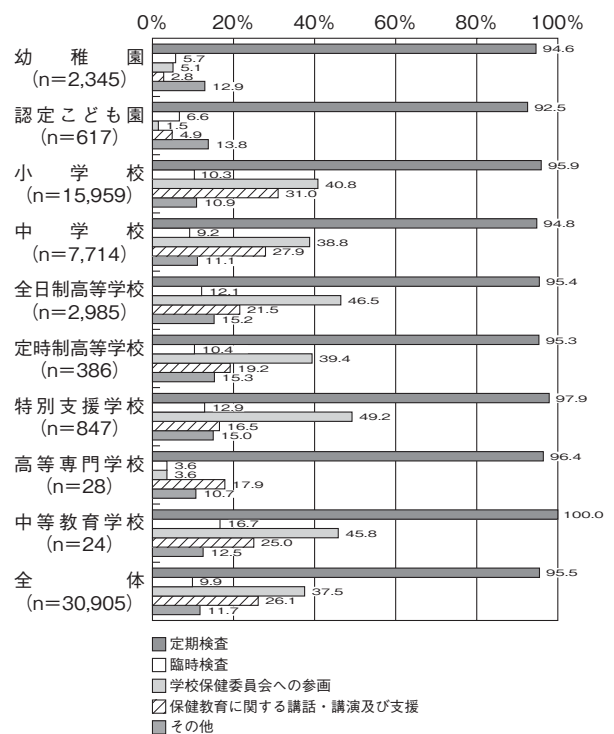
都道府県別では、「定期検査」の割合が最も高かったのは石川県100%であった。「学校保健委員会への参画」の割合が最も高かったのは、岐阜県83.0%、次いで佐賀県75.7%であった。

定期検査のためには学校に行っていない学校薬剤師が4.5%いるという結果は、昨年度と同様であり、定期検査は学校薬剤師の主務であるので、引き続き改善の必要がある。「学校保健委員会への参画」の割合も昨年度と同程度であるが、学校の保健活動を話し合う大切な場であるので、出席できない場合でもあらかじめ環境衛生活動への意見、資料等を提出するなど、積極的な参画が求められる。

1-1 学校薬剤師の本務の職場について
2-1 平成27年度における学校薬剤師の出校日数(電話対応を含む。)について



2-2 出校した人にお聞きします。何が目的でしたか。(複数回答可)



基-2-3 定期検査のために出校した人で、「学校環境衛生基準」に基づく定期検査への関与状況について

〈*都道府県別データは33ページ参照〉

出校した目的に「定期検査」と回答した学校薬剤師(95.5%)において、「すべての検査項目に関与した」と回答した割合は44.7%で、昨年より7.2ポイント高くなった。「一部の検査を検査機関に委託した」割合は53.4%で昨年より6.2ポイント低くなり、すべての検査を検査機関に委託した割合は1.8%で昨年より1.1ポイント低くなった。

都道府県別では、「すべての検査項目に関与した」割合が最も高かったのは、三重県78.2%、次いで京都府68.9%、徳島県65.9%であった。

学校種別では、中等教育学校の指導助言のみは8.3%で、他の校種より高かった。

検査項目によっては機器分析が必要な場合がある。「一部の検査を検査機関に委託した」割合も、昨年度より5.7ポイント高くなっていることから、検査機関から提出された結果について学校に指導・助言することが益々重要になってきている。

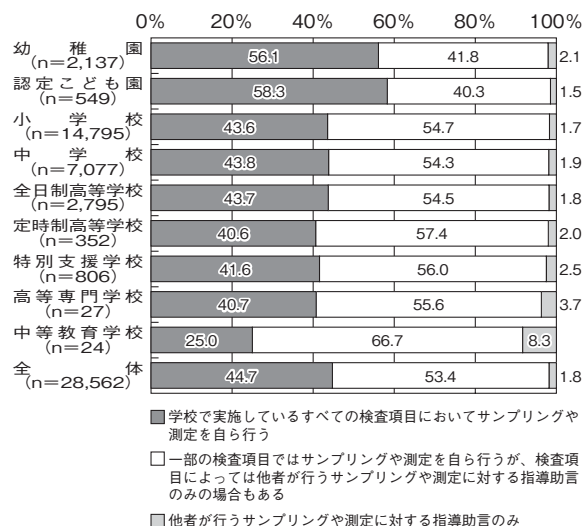
基-2-4 学校保健委員会に参画した人で、議事における環境衛生検査に関する指導助言等の有無について

〈*都道府県別データは33ページ参照〉

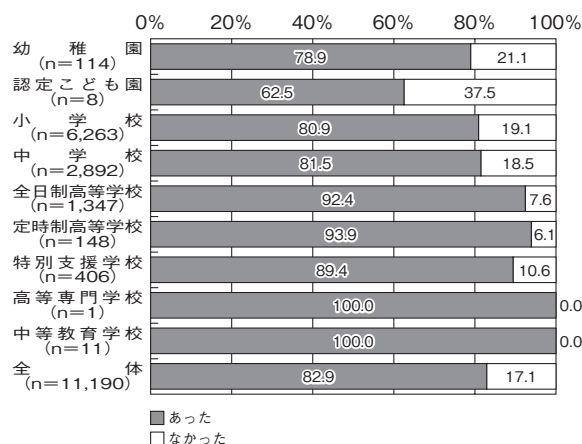
出校した目的に「学校保健委員会への参画」と回答した学校薬剤師(37.5%)のうち、82.9%が実施した定期検査の結果など環境衛生に関することを取り上げていて、その割合は昨年度と同程度であった。

学校種別では、高等専門学校及び中等教育学校が100%、次いで定時制高等学校93.9%、全日制高等学校が92.4%であった。小学校、中学

2-3 定期検査のために出校した人で、「学校環境衛生基準」に基づく定期検査への関与状況について



2-4 学校保健委員会に参画した人で、議事における環境衛生検査に関する指導助言等の有無について



校は8割程度であった。

都道府県別では、青森県、岩手県、宮城県、岐阜県、京都府、鹿児島県、沖縄県が9割以上であり、昨年度より高くなっている。

定期検査の結果は、定期検査の都度、学校に報告するだけでなく、学校保健委員会で報告及び指導・助言することにより、学校における学校薬剤師の活動を教職員だけでなく、児童生徒等、学校医、学校歯科医、保護者、地域の人たちにも認識してもらえるので、積極的に参画すべきである。

基-2-5 保健に関する講話・講演及び支援を行った人に対して、講話・講演及び支援の題材について(複数回答可)

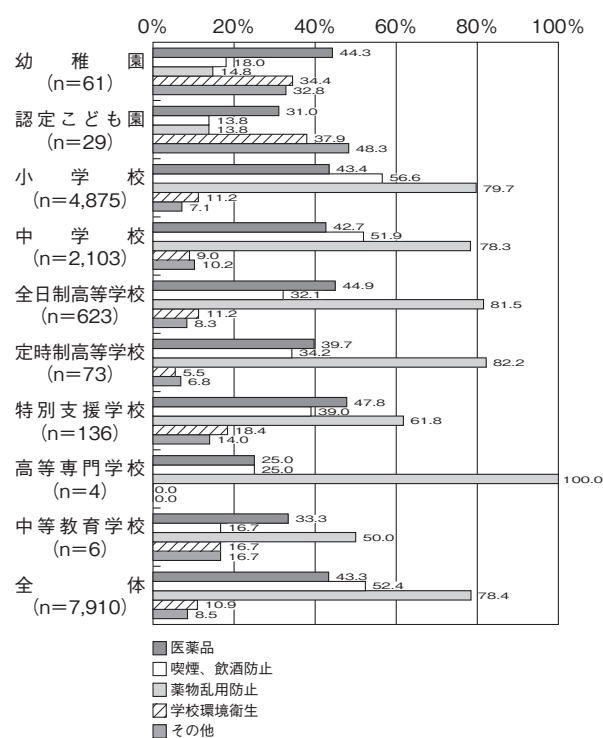
〈*都道府県別データは34ページ参照〉

出校した目的に保健教育に関する講話・講演及び支援と回答した学校薬剤師(26.1%)では、その内容として「薬物乱用防止」が最も高く78.4%、次いで「喫煙、飲酒防止」52.4%、「医薬品」43.3%であり、それぞれ昨年度と同程度であった。

都道府県別では、「薬物乱用防止」に関与した割合が最も高かったのは、宮城県94.3%であり、次いで岩手県93.1%であった。

学校種別では、「医薬品」に関与した割合は、認定こども園、定時制高等学校、高等専門学校、中等教育学校が3割、他は4割程度であった。「薬物乱用防止」に関与した割合は、高等専門学校が100%で最も高く、幼稚園、認定こども園を除き、ほぼ7割であった。「喫煙、飲酒」に関与した割合は、小学校が最も高く56.6%であった。

2-5 保健に関する講話・講演及び支援を行った人に対して、講話・講演及び支援の題材について(複数回答可)



A. 平成27年度における飲料水の水質検査についてお伺いします。

A-1 主に飲料水として利用されている水（給食施設を除く）について

〈*都道府県別データは35ページ参照〉

上水道等、他の施設から給水は98.4%であり、学校が自ら所有する井戸水等は1.6%であった。

都道府県別では、上水道等、他の施設から給水が100%であったのは、群馬県、埼玉県、新潟県、山梨県、愛知県、奈良県、沖縄県である。一方、学校が自ら所有する井戸水等の割合は、大分県11.4%、熊本県7.9%、富山県7.4%が高かった。

学校種別では、上水道等、他の施設から給水が高等専門学校の92.9%以外、ほぼ100%に近くなっている。高等専門学校の7.1%は、学校が自ら所有する井戸水等であった。

A-2 上水道等、他の施設から給水している学校の貯水槽（受水槽、高置水槽等）の有無について

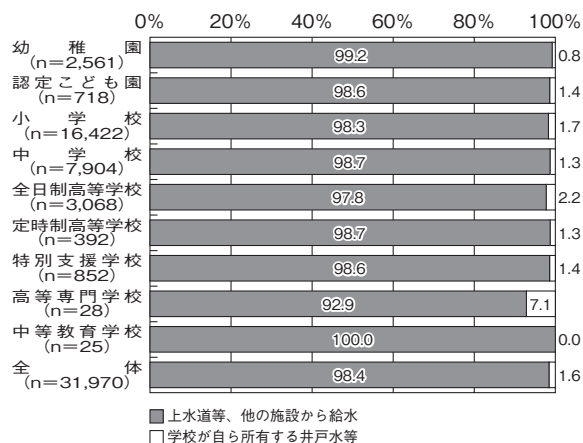
〈*都道府県別データは35ページ参照〉

上水道等、他の施設から給水している学校（98.4%）のうち、「貯水槽あり」の割合は73.2%であり、直結給水のみは26.8%であった。

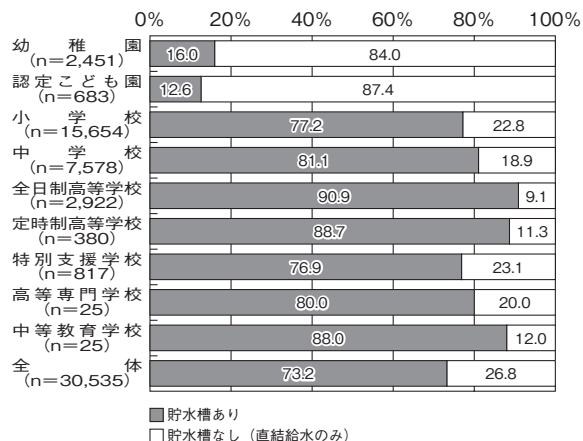
学校種別に見ると「貯水槽あり」の割合は、全日制高等学校90.9%、定時制高等学校88.7%、中等教育学校88.0%において高かった。一方、「直結給水のみ」は、認定こども園87.4%、幼稚園84.0%で高かった。

都道府県別では、「貯水槽あり」の割合が高かったのは、埼玉県92.2%、石川県91.3%、千葉県88.9%で、「貯水槽なし」で高かったのは、宮崎県66.7%、鹿児島県66.4%、高知県52.6%

A-1 主に飲料水として利用されている水（給食施設を除く）について



A-2 上水道等、他の施設から給水している学校の貯水槽（受水槽、高置水槽等）の有無について



であった。

A-3 貯水槽（受水槽、高置水槽等）がある学校の学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施状況について

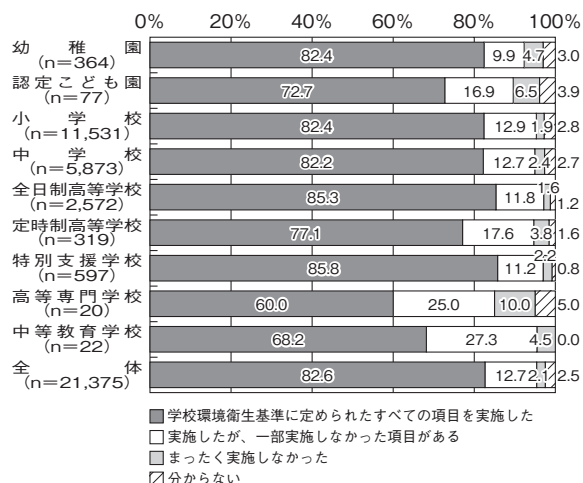
〈*都道府県別データは36、37ページ参照〉

貯水槽がある学校（73.2%）のうち、「学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した」学校の割合は82.6%であり、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」12.7%、「まったく実施しなかった」2.1%、「わからない」2.5%であった。

学校種別で「学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した」学校の割合が高かったのは、特別支援学校85.8%、全日制高等学校85.3%、幼稚園及び小学校の82.4%が高かった。「実施したが、一部実施しなかった項目がある」が高かったのは、中高教育学校27.3%、高等専門学校25.0%であった。また、「まったく実施しなかった」が高かったのは、高等専門学校10.0%、認定こども園6.5%等である。なお、「わからない」については、すべての学校種別で0%～5%の範囲中に入った。

都道府県別では、「学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した」で高かったのは、滋賀県97.7%、宮崎県97.3%、岐阜県96.7%であった。「実施したが、一部実施しなかった項目がある」が高かったのは、高知県38.8%、大阪府36.3%、長崎県34.7%であった。また、「まったく実施しなかった」が高かったのは、奈良県7.2%、山口県5.4%、広島県5.3%であった。なお、「わからない」が高かったのは、福井県7.2%、徳島県6.1%、奈良県5.6%であった。

A-3 貯水槽（受水槽、高置水槽等）がある学校の学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施状況について



A-4 貯水槽(受水槽、高置水槽等)があり、
「学校環境衛生検査に基づいた水質検査を実施したが、一部実施しなかった項目がある」
(12.7%)のうち、実施した水質検査の項目について(複数回答)

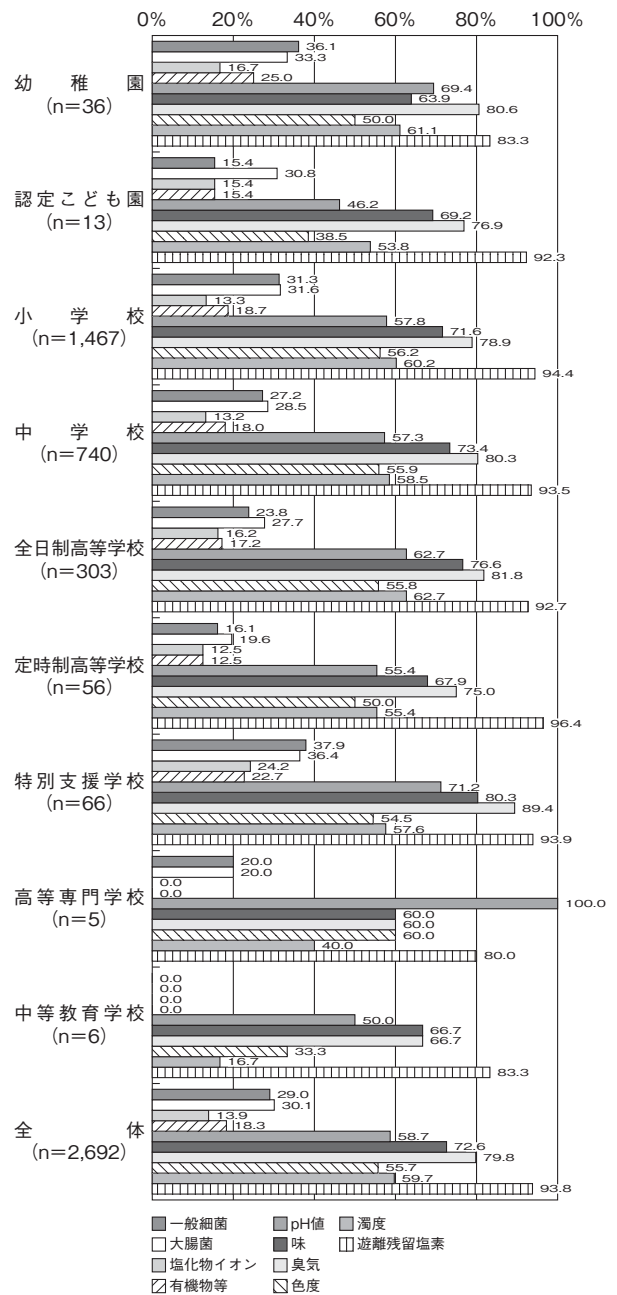
〈*都道府県別データは38ページ参照〉

貯水槽(受水槽、高置水槽等)があり、「学校環境衛生検査に基づいた水質検査を実施したが、一部実施しなかった項目がある」(12.7%)のうち、実施した水質検査の項目で一番高かったのは、「遊離残留塩素」93.8%であり、次いで、「臭気」79.8%、「味」72.6%、「濁度」59.7%、「pH値」58.7%、「色度」55.7%、「大腸菌」30.1%、「一般細菌」29.0%、「有機物等」18.3%、「塩化物イオン」13.9%の順であった。

学校種別で、各検査項目のうち実施の割合が高かったのは、幼稚園では「遊離残留塩素」83.3%、「臭気」80.6%、「pH値」69.4%、認定こども園では「遊離残留塩素」92.3%、「臭気」76.9%、「味」69.2%、小学校では「遊離残留塩素」94.4%、「臭気」78.9%、「味」71.6%、中学校では「遊離残留塩素」93.5%、「臭気」80.3%、「味」73.4%、全日制高等学校では「遊離残留塩素」92.7%、「臭気」81.8%、「味」76.6%、定時制高等学校では「遊離残留塩素」96.4%、「臭気」75.0%、「味」67.9%、特別支援学校では「遊離残留塩素」93.9%、「臭気」89.4%、「味」71.2%、高等専門学校では「遊離残留塩素」80.0%、「臭気」60.0%、「味」60.0%、中等教育学校では「遊離残留塩素」83.3%、「味」66.7%、「臭気」66.7%の順であった。

各検査項目のうち100%実施されている項目を都道府県で見ると「一般細菌」は滋賀県、香川県、「大腸菌」は石川県、香川県、「塩化物イオン」はなし、「有機物等」は滋賀県、「pH値」

A-4 貯水槽(受水槽、高置水槽等)があり、「学校環境衛生検査に基づいた水質検査を実施したが、一部実施しなかった項目がある」(12.7%)のうち、実施した水質検査の項目について(複数回答)



も滋賀県、香川県、宮崎県、「味」は、岐阜県、滋賀県、宮崎県、鹿児島県、「臭気」は宮城県、山梨県、岐阜県、滋賀県、香川県、宮崎県、鹿児島県、「色度」は宮城県、山梨県、香川県、鹿児島県、「濁度」は宮城県、富山県、石川県、山梨県、滋賀県、香川県、鹿児島県、「遊離残留塩素」は宮城県、山形県、群馬県、富山県、石川県、滋賀県、島根県、徳島県、宮崎県であった。

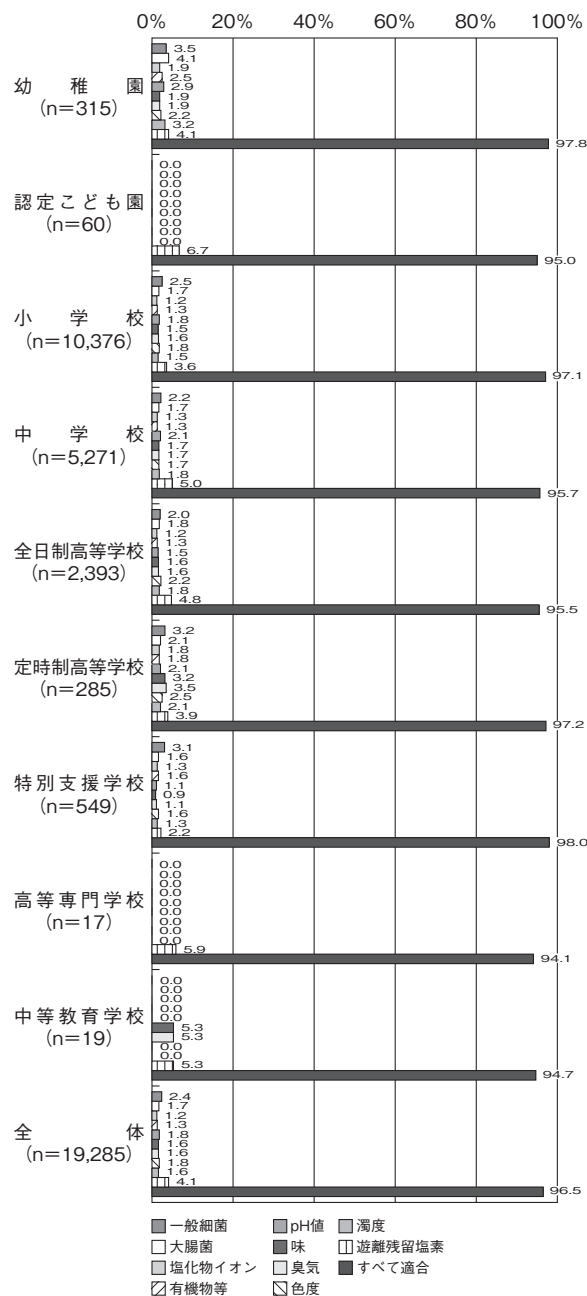
A-5 貯水槽（受水槽、高置水槽等）があり、学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施につき、「同基準に定められたすべての項目を実施」もしくは、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」と回答の学校で、水質基準に不適合な項目について（複数回答）

〈* 都道府県別データは39ページ参照〉

「学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施」（82.6%）及び「実施したが、一部実施しなかった項目がある」（12.7%）のうち、すべて適合は、96.5%であり、不適合な項目は、「一般細菌」2.4%、「大腸菌」1.7%、「塩化物イオン」1.2%、「有機物等」1.3%、「pH値」1.8%、「味」1.6%、「臭気」1.6%、「色度」1.8%、「濁度」1.6%、「遊離残留塩素」4.1%であった。

学校種別では、それほど大きな差は見られず、都道府県別でも「遊離残留塩素」の京都府11.1%以外、すべて一桁であった。なお、山梨県では、すべて適合が100%であった。

A-5 貯水槽（受水槽、高置水槽等）があり、学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施につき、「同基準に定められたすべての項目を実施」もしくは、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」と回答の学校で、水質基準に不適合な項目について（複数回答）



A-6 貯水槽(受水槽、高置水槽等)があり、学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施につき、「同基準に定められたすべての項目を実施」もしくは、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」と回答の学校で、不適合項目の指導助言について

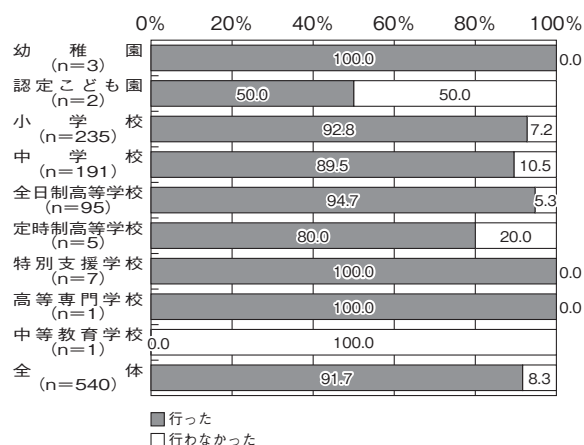
〈*都道府県別データは40ページ参照〉

「不適合項目の指導・助言を行った」学校の割合は91.7%であり、「行わなかった」が8.3%であった。

学校種別では、100%行ったのは、幼稚園、特別支援学校、高等専門学校であった。一方、認定子ども園50.0%、定時制高等学校20.0%、中等教育学校では100%が行わなかった。

都道府県別では、100%行ったのは、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨木県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、三重県、京都府、奈良県、鳥取県、香川県、高知県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県であった。一方、行わなかったが高かったのは、富山県、愛媛県、大分県であった。

A-6 貯水槽(受水槽、高置水槽等)があり、学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施につき、「同基準に定められたすべての項目を実施」もしくは、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」と回答の学校で、不適合項目の指導助言について



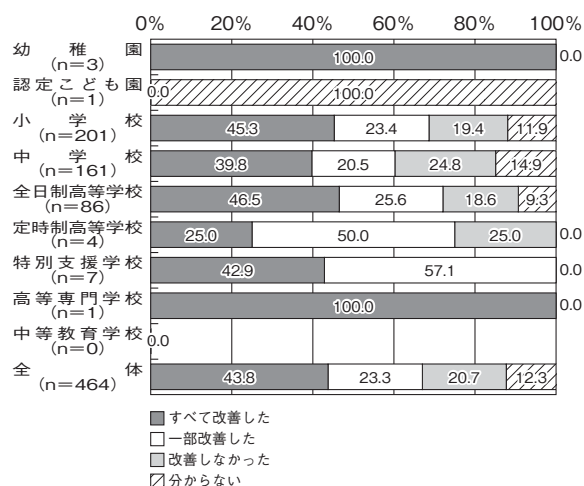
A-7 貯水槽(受水槽、高置水槽等)があり、学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施につき、「同基準に定められたすべての項目を実施」もしくは、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」と回答の学校で、不適合な項目について、指導助言による改善はあったか

〈*都道府県別データは40ページ参照〉

「すべて改善した」43.8%、「一部改善した」23.3%、「改善しなかった」20.7%、「わからない」12.3%であった。

学校種別では、「すべて改善した」が100%であったのは、幼稚園、高等専門学校であった。

A-7 貯水槽(受水槽、高置水槽等)があり、学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施につき、「同基準に定められたすべての項目を実施」もしくは、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」と回答の学校で、不適合な項目について、指導助言による改善はあったか



「一部改善した」で高かったのは、特別支援学校57.1%、定時制高等学校50.0%であった。一方、「改善しなかった」で高かったのは、定時制高等学校25.0%、中学校24.8%であった。なお、「分からない」が0%だったのは、幼稚園、定時制高等学校、特別支援学校、高等専門学校であった。

都道府県別では、「すべて改善した」が100%であったのは、栃木県、鳥取県、大分県であり、「一部改善した」100%は、新潟県、徳島県、「改善しなかった」100%は、茨木県であった。なお、「分からない」が高かったのは、青森県50.0%、山形県50.0%、奈良県50.0%であった。

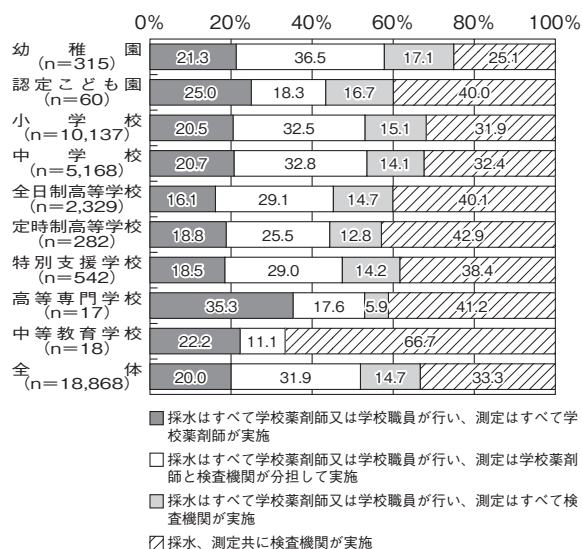
A-8 貯水槽(受水槽、高置水槽等)があり、学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施につき、「同基準に定められたすべての項目を実施」もしくは、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」と回答の学校で、水質検査の採水及び測定の実施者について

〈*都道府県別データは41、42ページ参照〉

「採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定はすべて学校薬剤師が実施」した学校の割合は20.0%、「採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定はすべて学校薬剤師と検査機関が分担して実施」31.9%、「採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定はすべて検査機関が実施」14.7%、「採水、測定共に検査機関が実施」33.3%であった。

学校種別では、「採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定はすべて学校薬剤師が実施」で高かったのは、高等専門学校35.3%、認定こども園25.0%、中等教育学校22.2%、「採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定は薬剤師と検査機関が分担して実施」で高かったのは、幼稚園36.5%、中学校32.8%、

A-8 貯水槽(受水槽、高置水槽等)があり、学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施につき、「同基準に定められたすべての項目を実施」もしくは、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」と回答の学校で、水質検査の採水及び測定の実施者について



「採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定はすべて検査機関が実施」で高かったのは、幼稚園17.1%、認定こども園16.7%「採水、測定共に検査機関が実施」で高かったのは、中等教育学校66.7%、定時制高等学校42.9%であった。

都道府県別では、「採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定はすべて学校薬剤師が実施」で高かったのは、大阪府64.5%、兵庫県62.1%、「採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定は薬剤師と検査機関が分担して実施」で高かったのは、石川県82.6%、滋賀県74.4%、「採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定はすべて検査機関が実施」で高かったのは、鹿児島県47.1%、愛媛県43.0%、「採水、測定共に検査機関が実施」で高かったのは、福井県82.4%、福島県78.5%であった。

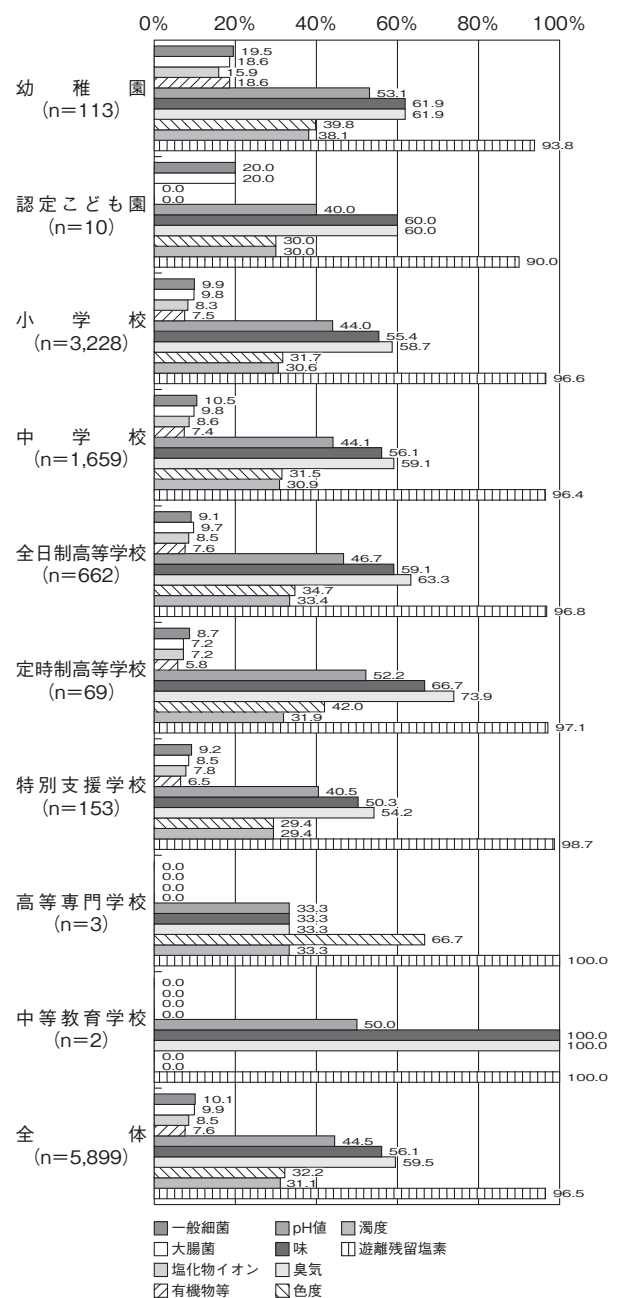
A-9 貯水槽(受水槽、高置水槽等)があり、学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施につき、「同基準に定められたすべての項目を実施」もしくは、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」と回答の学校で、水質検査の採水をすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定は学校薬剤師と検査機関が分担して実施した学校のうち、学校薬剤師が測定を実施した水質検査の項目について(複数回答)

〈*都道府県別データは43ページ参照〉

分担して実施した割合が高かったのは、「遊離残留塩素」96.5%であり、次いで、「臭気」59.5%、「味」56.1%、「pH値」44.5%、「色度」55.7%、「濁度」31.1%、「一般細菌」10.1%、「大腸菌」9.9%、「塩化物イオン」8.5%、「有機物等」7.6%の順であった。

学校種別において「遊離残留塩素」を分担して実施した割合が100%であったのは、高等専

A-9 貯水槽(受水槽、高置水槽等)があり、学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施につき、「同基準に定められたすべての項目を実施」もしくは、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」と回答の学校で、水質検査の採水をすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定は学校薬剤師と検査機関が分担して実施した学校のうち、学校薬剤師が測定を実施した水質検査の項目について(複数回答)



門学校、中等教育学校であった。

都道府県別で100%だったのは、遊離残留塩素は福井県、島根県、山口県、愛媛県、高知県、熊本県、pH値では三重県のみであった。

A-10 学校が自ら所有する井戸水等で、専用水道が実施すべき水質検査項目及び遊離残留塩素の実施状況について

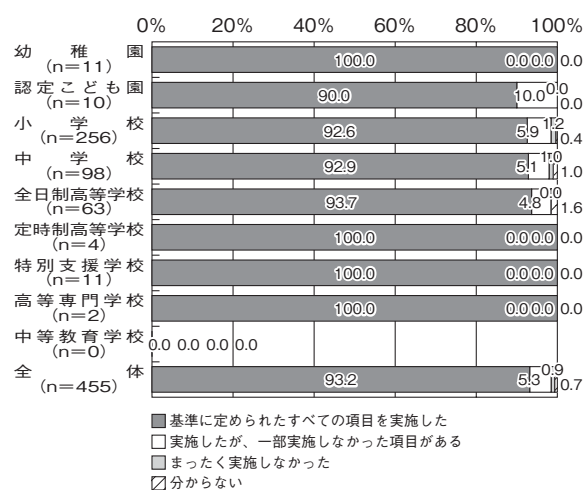
〈*都道府県別データは44ページ参照〉

学校が自ら所有する井戸水等（1.6%）のうち、「基準に定められたすべての項目を実施」した学校の割合は93.2%であり、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」5.3%、「まったく実施しなかった」0.9%、「分からない」0.7%であった。

学校種別では、「基準に定められたすべての項目を実施した」学校の割合が100%は、幼稚園、定時制高等学校、特別支援学校、高等専門学校であった。「実施したが、一部実施しなかった項目がある」学校は、認定こども園10.0%、小学校5.9%等であった。

都道府県別では、基準に定められたすべての項目を実施した学校の割合が100%であったのは、北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、栃木県、茨木県、千葉県、東京都、富山県、長野県、岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、島根県、山口県、徳島県、香川県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県であった。「実施したが、一部実施しなかった項目がある」で高かったのは、高知県66.7%、福井県57.1%、「まったく実施しなかった」で高かったのは、石川県20.0%、和歌山県14.3%であった。

A-10 学校が自ら所有する井戸水等で、専用水道が実施すべき水質検査項目及び遊離残留塩素の実施状況について



A-11 学校が自ら所有する井戸水等で、「専用水道が実施すべき水質検査項目及び遊離残留塩素を実施したが、一部しなかった項目がある」、「まったく実施しなかった」、「分からない」の中で、実施の改善について

〈*都道府県別データは44ページ参照〉

「学校または設置者に改善を申し入れた」を行った学校薬剤師は51.9%であり、「改善の申し入れを行わなかった」は48.1%であった。

学校種別では、「学校又は設置者に改善を申し入れた」が多かったのは、認定こども園が100%、小学校56.3%、全日制高等学校50.0%、「改善の申し入れを行わなかった」が多かったのは、中学校の66.7%であった。

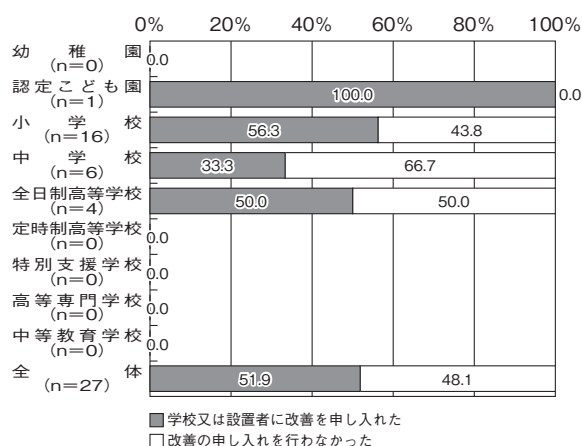
都道府県別で、「学校又は設置者に改善を申し入れた」が100%であったのは、福島県、福井県、広島県、愛媛県であった。一方、「改善の申し入れを行わなかった」が100%であったのは、石川県、静岡県、和歌山県、高知県、佐賀県であった。

A-12 貯水槽(受水槽、高置水槽等)があり、「学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した」「学校環境衛生検査に基づいた水質検査を実施したが、一部実施しなかった項目がある」及び学校が自ら所有する井戸水等で「基準に定められたすべての項目を実施」「実施したが、一部実施しなかった項目がある」で水質検査結果(過去5年間)の記録の保存について

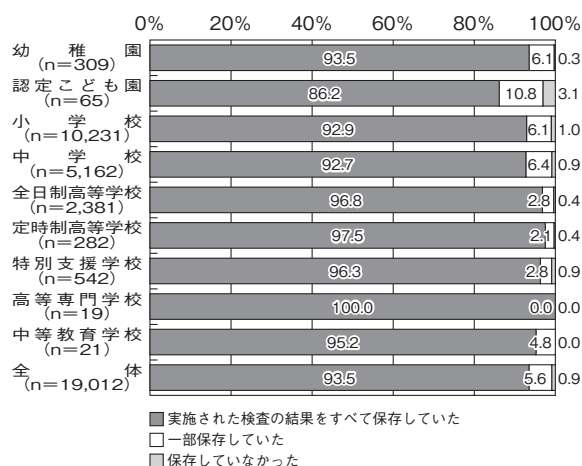
〈*都道府県別データは45、46ページ参照〉

「実施された検査の結果をすべて保存していた」学校の割合は93.5%であり、「一部保存していた」5.6%、「保存していなかった」0.9%であった。

A-11 学校が自ら所有する井戸水等で、「専用水道が実施すべき水質検査項目及び遊離残留塩素を実施したが、一部しなかった項目がある」、「まったく実施しなかった」、「分からない」の中で、実施の改善について



A-12 貯水槽(受水槽、高置水槽等)があり、「学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した」「学校環境衛生検査に基づいた水質検査を実施したが、一部実施しなかった項目がある」及び学校が自ら所有する井戸水等で「基準に定められたすべての項目を実施」「実施したが、一部実施しなかった項目がある」で水質検査結果(過去5年間)の記録の保存について



学校種別では、高等専門学校において「実施された検査の結果をすべて保存していた」が100%であり、認定こども園が86.2%となった以外は90%台であった。「一部保存していた」で高かったのは、認定こども園10.8%、中学校6.4%であった。なお、「保存していなかった」で高かったのは、認定こども園3.1%、小学校1.0%であった。

都道府県別では、「実施された検査の結果をすべて保存していた」学校の割合が100%であったのは香川県だけであった。「一部保存していた」で高かったのは、愛媛県17.4%、福岡県14.1%であった。なお、「保存していなかった」で高かったのは、福井県5.4%、青森県4.8%であった。

基準では、5年間保存となっており、すべての記録を必ず保存するように指導・助言していただきたい。

B. 飲料水の貯水槽（主なもの1つ）についてお伺いします。

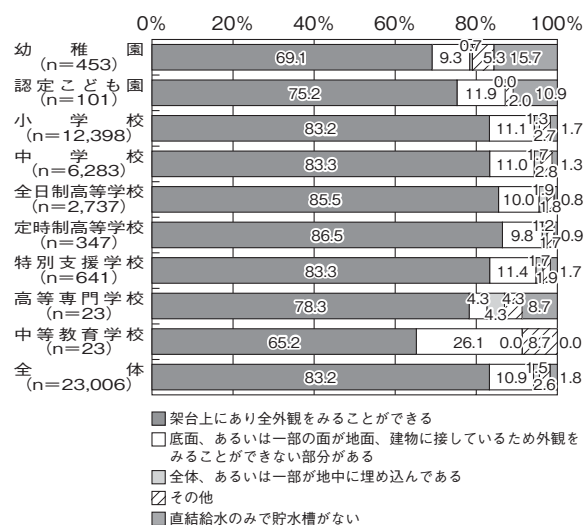
B-1 飲料水の貯水槽設置の形態について

〈*都道府県別データは47、48ページ参照〉

「架台上にあり全外観をみることができる」学校の割合は83.2%であり、「底面あるいは一部の面が地面、建物に接しているため外観をみることができない部分がある」10.9%、「全体、あるいは一部が地面に埋め込んである」1.5%、「その他」2.6%、「直結給水のみで貯水槽がない」1.8%であった。

学校種別では、「架台上にあり全外観をみることができる」は、中等教育学校65.2%、幼稚園69.1%、認定こども園75.2%、高等専門学校78.3%以外は、すべて80%台である。「底面あるいは一部の面が地面、建物に接しているため外観をみることができない部分がある」は、中

B-1 飲料水の貯水槽設置の形態について



等教育学校26.1%、認定こども園11.8%が高く、「全体、あるいは一部が地面に埋め込んである」は高等専門学校4.3%、全日制高等学校1.9%が高く、「直結給水のみで貯水槽がない」は、幼稚園15.7%、認定こども園10.9%が高かった。

都道府県別では、「架台上にあり全外観をみることができる」学校の割合が高かったのは、山梨県89.9%、栃木県89.7%であり、「底面あるいは一部の面が地面、建物に接しているため外観をみることができない部分がある」で高かったのは、沖縄県23.3%、三重県16.1%、「全体、あるいは一部が地面に埋め込んである」で高かったのは、高知県4.5%、北海道3.8%、「直結給水のみで貯水槽がない」で高かったのは、徳島県7.2%、鹿児島県6.5%であった。

B-2 飲料水の貯水槽内部の清掃について

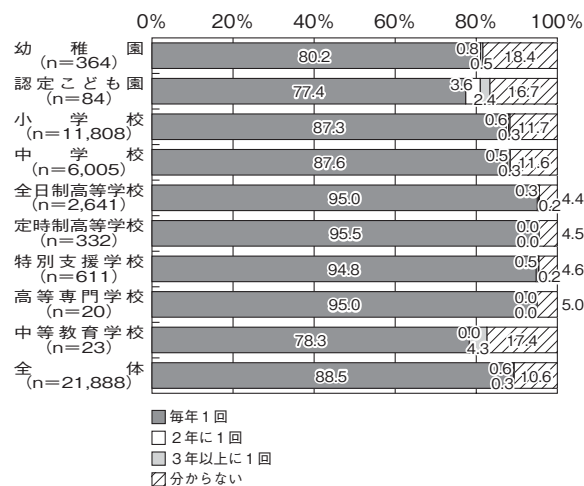
〈*都道府県別データは47、49ページ参照〉

「毎年1回」の学校の割合は88.5%であり、「2年に1回」0.6%、「3年以上に1回」0.3%、「わからない」10.6%であった。

学校種別では、「毎年1回」で高かったのは、定時制高等学校95.5%、全日制高等学校95.0%、高等専門学校95.0%、「2年に1回」は、認定こども園が3.6%で多く、その他は1%未満であった。「3年以上に1回」は、中等教育学校4.3%、認定こども園2.4%が多く、「分からない」は、幼稚園18.4%、中等教育学校17.4%、認定こども園16.7%であった。

都道府県別では、「毎年1回」で高かったのは、岩手県97.0%、福島県96.5%、宮崎県96.2%であった。「2年に1回」で高かったのは、高知県2.4%、大分県2.8%、「3年以上に1回」で高かったのは、石川県1.2%、鹿児島県1.1%で、他は小数点以下であった。「分から

B-2 飲料水の貯水槽内部の清掃について



ない」で高かったのは、山梨県25.4%、高知県22.4%、徳島県19.8%であった。

B-3 受水槽の周りの状況について

〈*都道府県別データは50、51ページ参照〉

「清潔である」学校の割合は92.2%であり、「清潔でない」1.2%、「みることができない」6.6%であった。

学校種別では、「清潔である」で高かったのは、特別支援学校95.9%、全日制高等学校94.8%、定時制高等学校93.1%で、「清潔でない」で高かったのは、中等教育学校5.0%、中学校1.6%、「みることができない」で高かったのは、高等専門学校20.0%、幼稚園13.4%であった。

都道府県別では、「清潔である」が高かったのは、栃木県99.2%、福島県97.6%であり、「清潔でない」で高かったのは、京都府が3.1%、山梨県2.7%、「みることができない」で高かったのは、高知県16.3%、宮崎県14.4%、徳島県14.3%であった。

C. 雑用水に関する施設についてお伺いします。

C-1 雑用水に関する施設について

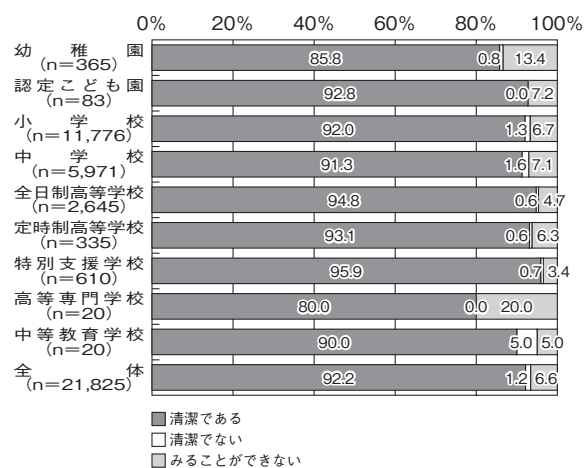
〈*都道府県別データは50ページ参照〉

「施設・設備がある」11.9%、「施設・設備がない」88.1%であった。

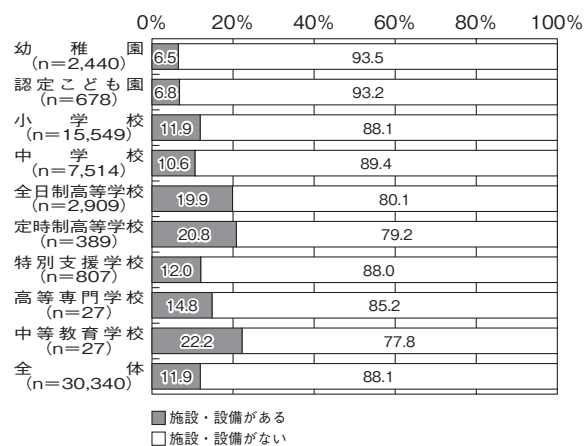
学校種別では、「施設・設備がある」で高かったのは、中等教育学校22.2%、定時制高等学校20.8%、「施設・設備がない」で高かったのは、幼稚園93.5%、認定こども園93.2%であった。

都道府県別では、「施設・設備がある」で高かったのは、沖縄県29.3%、東京都24.8%、「施設・設備がない」で高かったのは、宮崎県

B-3 受水槽の周りの状況について



C-1 雑用水に関する施設について



97.7%、大分県95.1%であった。

C-2 雑用水の水質検査について

〈*都道府県別データは52ページ参照〉

「基準に定められたすべての項目を実施した」42.0%、「一部実施していない項目がある」12.0%、「まったく実施していない」46.0%であった。

学校種別では、「基準に定められたすべての項目を実施した」で高かったのは、高等専門学校75.0%、中等教育学校75.0%、「一部実施していない項目がある」で高かったのは、中等教育学校25.0%、幼稚園16.7%、「まったく実施していない」で高かったのは、認定子ども園56.8%、小学校51.2%であった。

都道府県別では、「基準に定められたすべての項目を実施した」で高かったのは、大分県80.0%、佐賀県76.9%、「一部実施していない項目がある」で高かったのは、栃木県27.3%、徳島県25.0%、「まったく実施していない」で高かったのは、京都府80.9%、長野県75.7%であった。

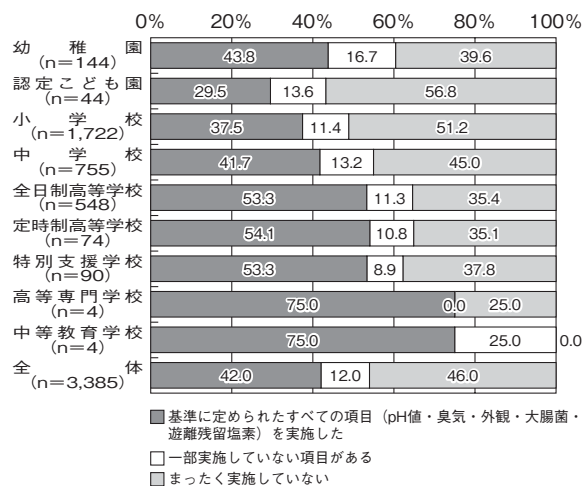
C-3 雑用水の日常点検について

〈*都道府県別データは52ページ参照〉

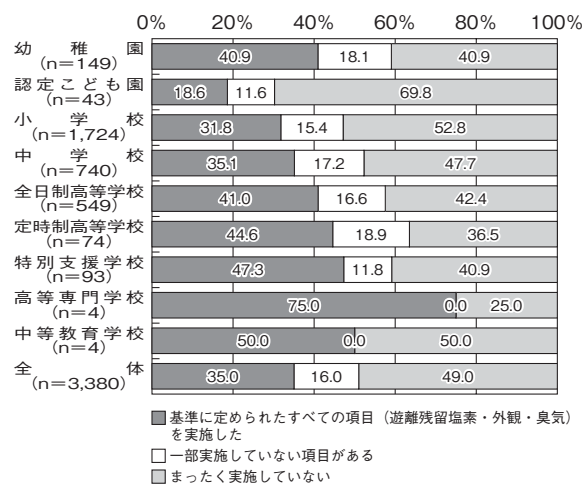
「基準に定められたすべての項目を実施した」学校の割合は35.0%であり、「一部実施していない項目がある」16.0%、「まったく実施していない」49.0%であった。

学校種別では、「基準に定められたすべての項目を実施した」で高かったのは、高等専門学校75.0%、中等教育学校50.0%であり、「一部実施していない項目がある」で高かったのは、定時制高等学校18.9%、幼稚園18.1%、「まったく実施していない」で高かったのは、認定子ども園69.8%、小学校52.8%であった。

C-2 雑用水の水質検査について



C-3 雑用水の日常点検について



都道府県別では、「基準に定められたすべての項目を実施した」で高かったのは、佐賀県66.7%、大分県60.0%であり、「一部実施していない項目がある」で高かったのは、岐阜県30.0%、山口県28.1%、「まったく実施していない」で高かったのは、宮崎県80.0%、京都府77.2%であった。

Ⅳ. まとめ

学校薬剤師の本務の職場は、薬局（開設者）及び薬局（勤務者）が全体の9割弱を占めており、大きな変化は認められなかった。

医薬品に関する内容を取り扱った学校の割合は44.7%で、昨年度の42.6%から2.1ポイント高くなった。ここ数年、年々高くなっているが、中学校及び高等学校では学習指導要領に基づき、保健体育科で必ず学習する内容となっているので、学校薬剤師は保健体育科教諭及び養護教諭ともっと連携していく必要がある。

今回新たに設問した学校環境衛生検査の実施状況については、「学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した」及び「一部実施していない項目がある」を合わせると96.2%が実施しているが、「まったく実施していない」が1.7%であった。また、学校薬剤師の年間出校日数の都道府県別の全集計では、小学校13校、中学校18校、全日制高等学校31校が「0日」になっていた。学校環境衛生検査を実施せず、年間出校日が電話対応を含んでも「0日」に関しては、これから問題点を探っていく必要があると考えられる。

学校薬剤師が出校した目的は、これまでの調査結果と同様に「定期検査」が最も高く、次いで、「学校保健委員会への参画」「保健教育に関する講話・講演及び支援」「臨時検査」であった。定期検査を行っていない学校薬剤師が4.5%いるという結果は、昨年度と同様であり、

定期検査は、学校薬剤師の主務であるので、引き続き改善の必要性がみられる。「学校保健委員会への参画」の割合も昨年度と同程度であるが、学校の保健活動を話し合う大切な場であるので、出席できない場合でもあらかじめ学校環境衛生活動への意見、資料等を提出するなど、積極的に参画すべきである。

出校した目的に「保健教育に関する講話・講演及び支援」と回答した学校薬剤師の中で「薬物乱用防止」に関与した割合が最も高く、次いで「喫煙、飲酒防止」「医薬品」で昨年度と同程度であった。

青少年の薬物問題は、社会的に大きな問題であり、学校における薬物乱用防止教育において学校薬剤師が専門家として積極的に関わっていくことは、大変重要である。薬物に手を出さないために、脅し教育ではなく、小学生から、正しい薬の使い方を身に付け、飲酒における身体への害、たばこ本体の害、そして、受動喫煙から自分を守ることを中心に、継続的に行うことが大切である。

飲料水に関する設問に対しては、上水道等、他の施設から給水している学校（98.4%）のうち、「貯水槽あり」73.2%、「直結給水のみ」26.8%であった。

貯水槽がある学校（73.2%）のうち、「学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した」及び「実施したが、一部実施しなかった項目がある」を合わせると95.3%であった。

貯水槽（受水槽、高置水槽等）があり、「学校環境衛生検査に基づいた水質検査を実施」もしくは、「一部実施しなかった項目がある学校」で、「不適合項目の指導・助言を行った」のは9割であったが、そのうち「すべて改善した」のは、半分弱であった。学校保健安全法第6条に基づき校長等学校管理者及び学校の設置者は学校環境衛生の適切な維持管理につとめなければならないことから、学校薬剤師はもっと積極

的に働きかける必要がある。

貯水槽（受水槽、高置水槽等）があり、学校が自ら所有する井戸水等（1.6%）のうち、「基準に定められたすべての項目を実施」と「実施したが、一部実施しなかった項目がある」を合わせると98.5%であった。

貯水槽（受水槽、高置水槽等）の水質検査結果は、過去5年間記録を保存しなくてはいけないので、保存していない学校に対して、指導助言が必要である。

飲料水の貯水槽内部の清掃については、「毎年1回」88.5%、受水槽の周りが「清潔である」92.2%であった。貯水槽の清掃は、毎学年1回以上計画的に実施する必要がある。学校の施設維持管理の責任者は、この清掃の際に貯水槽内部を点検する。特に、清掃作業終了時の確認は実施すること。井戸水等を水源とする飲料水の場合、水道水よりも貯水槽の汚染が早いため、年2回定期的に貯水槽内の点検を行うこととされていますので、分からない学校は、確認すべきである。

雑用水に関する施設について「施設・設備がある」11.9%、「施設・設備がない」88.1%だった。雑用水の検査結果が基準に適合しない場合は、原因を究明し、必要な措置を講じなくてはいけないので、検査を実施していない学校は、早急に対応すべきである。

学校における「学校環境衛生基準」に基づいた定期検査の100%実施を目指して学校薬剤師は、学校環境衛生活動を円滑に行っていく必要がある。

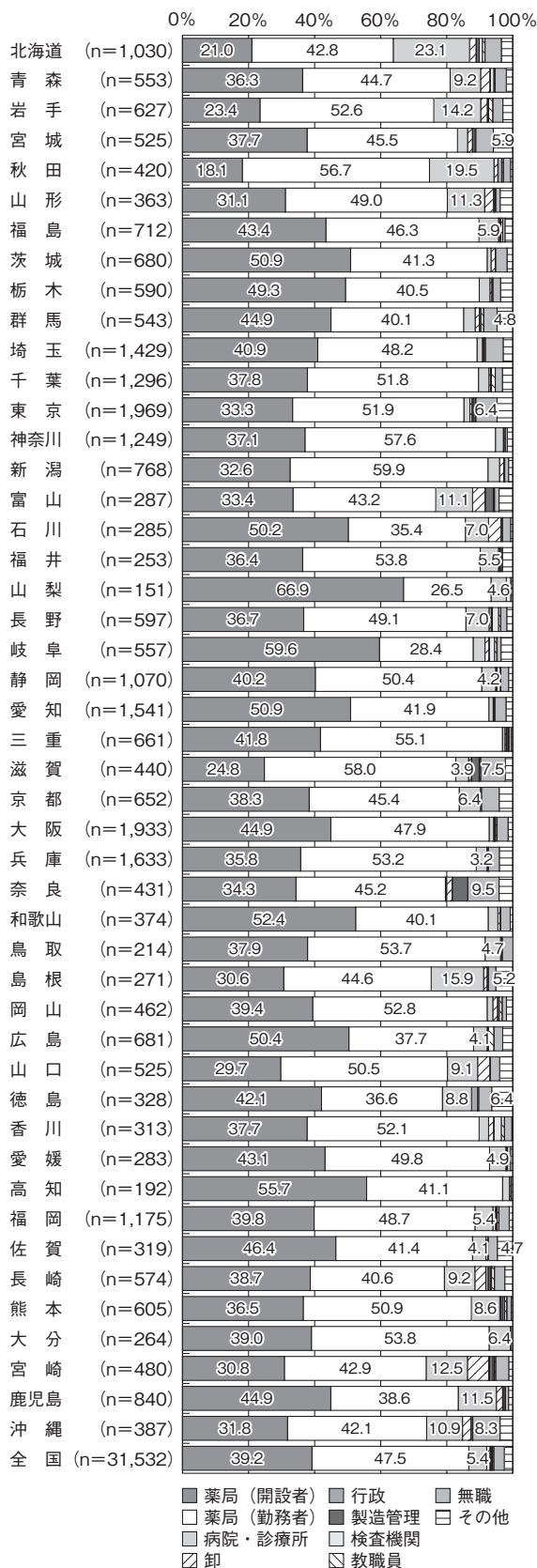
V. 終わりに

本調査を実施するにあたり、ご指導とご協力を賜りました文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課 健康教育調査官並びに各都道府県市町村等の教育委員会に深く感謝いたします。

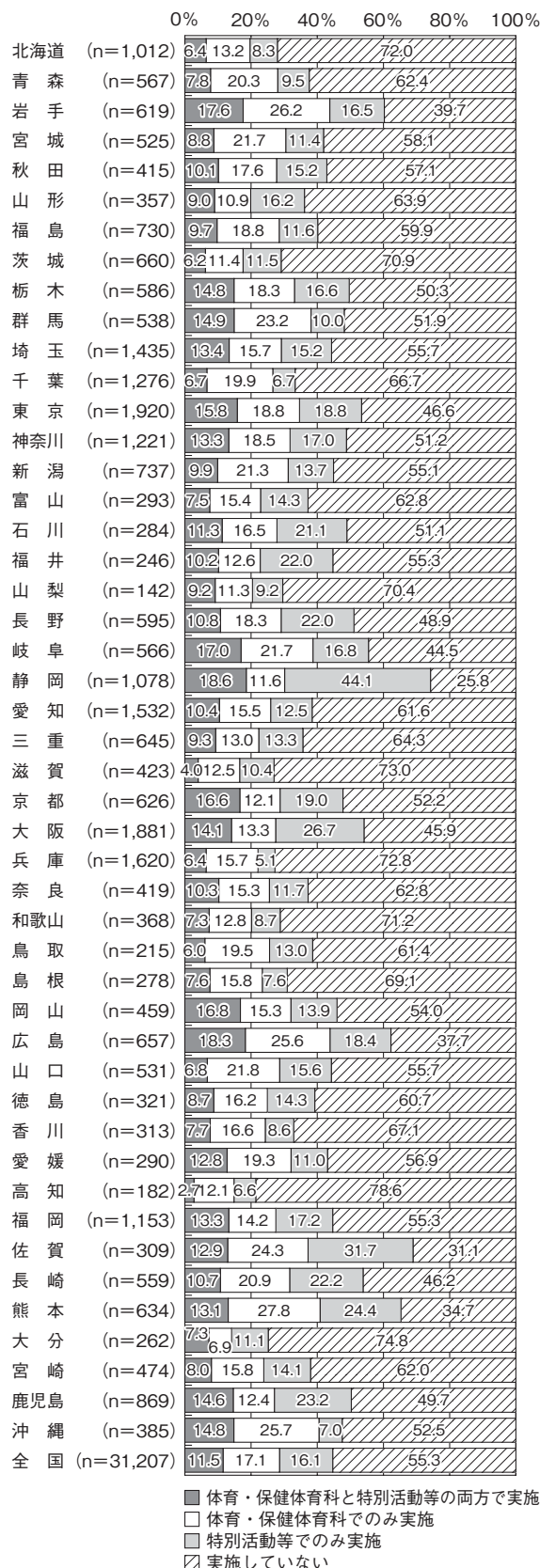
【都道府県別データ】

・都道府県別データは基本的にグラフで提示しているが、グラフでは各項目の数値表示等が難しい設問に関しては、グラフと表の両方を用いる形で、或いは表のみにて提示している。
 ・グラフ及び表の掲載順は一部設問順と異なる部分があるので、ご了承願いたい。

1-1 学校薬剤師の本務の職場について(グラフ数値27ページ)



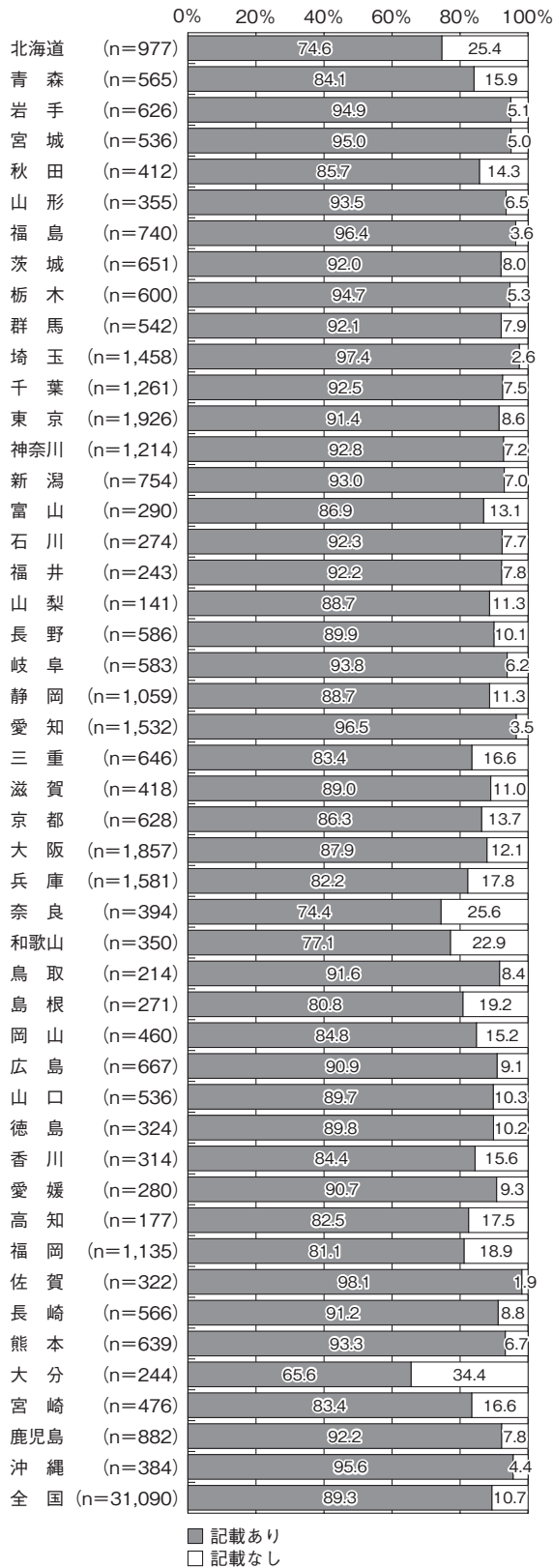
1-2 本校の体育・保健体育科、特別活動等における医薬品の授業や講演の実施状況について



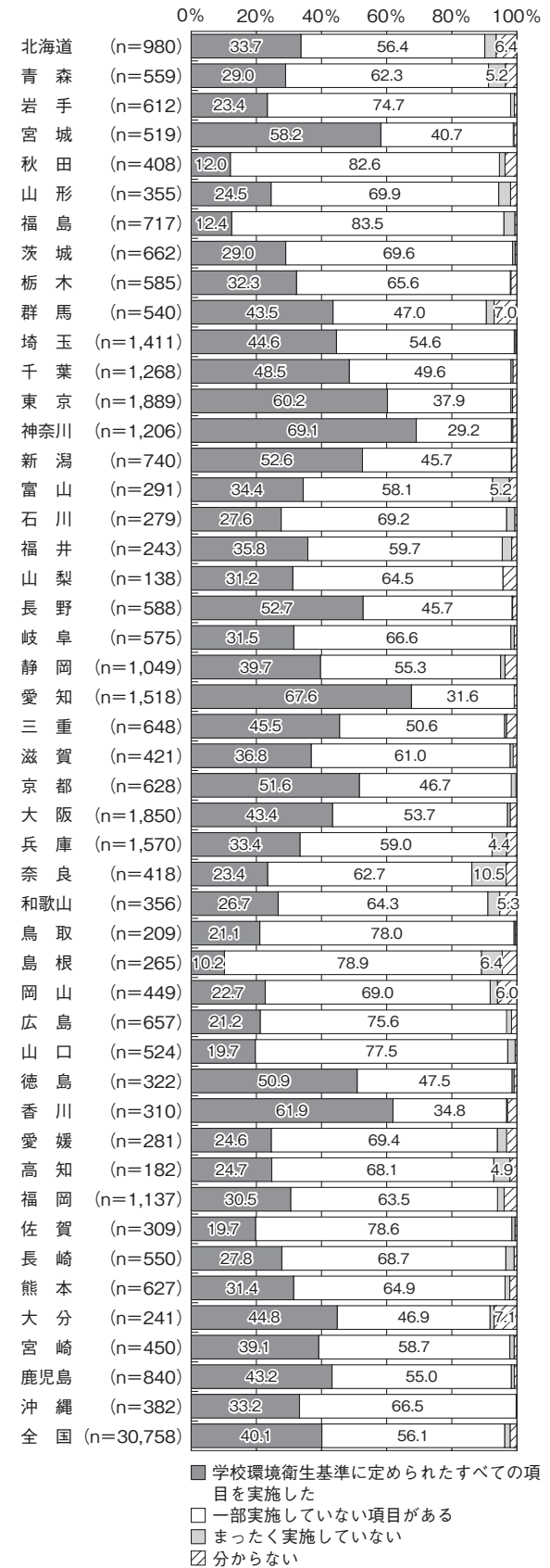
1-1 学校薬剤師の本務の職場について

	1. 薬局 (開設者)	2. 薬局 (勤務者)	3. 病院・ 診療所	4. 卸	5. 行政	6. 製造管理	7. 検査機関	8. 教職員	9. 無職	10. その他
北海道(n=1,030)	21.0	42.8	23.1	2.0	0.0	0.9	1.0	0.8	5.0	3.5
青森(n=553)	36.3	44.7	9.2	2.9	0.0	0.0	1.1	0.4	3.4	2.0
岩手(n=627)	23.4	52.6	14.2	2.1	0.0	0.0	0.3	1.3	3.0	3.0
宮城(n=525)	37.7	45.5	3.0	1.5	0.0	0.8	0.0	0.2	5.3	5.9
秋田(n=420)	18.1	56.7	19.5	1.2	1.2	0.0	0.0	0.5	2.1	0.7
山形(n=363)	31.1	49.0	11.3	2.8	0.0	0.3	0.3	0.0	1.4	3.9
福島(n=712)	43.4	46.3	5.9	0.4	0.0	0.3	0.0	0.6	0.7	2.4
茨城(n=680)	50.9	41.3	1.2	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	1.8
栃木(n=590)	49.3	40.5	3.2	0.7	0.0	0.0	0.2	0.0	2.4	3.7
群馬(n=543)	44.9	40.1	3.5	1.3	0.4	0.0	0.0	0.9	4.1	4.8
埼玉(n=1,429)	40.9	48.2	1.6	0.3	0.1	0.1	0.0	0.3	5.4	2.9
千葉(n=1,296)	37.8	51.8	3.2	0.5	0.1	0.2	0.0	1.2	2.2	3.2
東京(n=1,969)	33.3	51.9	1.8	0.7	0.0	0.6	0.0	0.6	6.4	4.8
神奈川(n=1,249)	37.1	57.6	2.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	1.7
新潟(n=768)	32.6	59.9	3.5	1.3	0.0	0.1	0.0	0.1	1.2	1.3
富山(n=287)	33.4	43.2	11.1	3.8	0.0	2.4	0.0	0.3	1.4	4.2
石川(n=285)	50.2	35.4	7.0	3.9	0.0	0.0	0.0	0.4	2.5	0.7
福井(n=253)	36.4	53.8	5.5	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	3.2
山梨(n=151)	66.9	26.5	4.6	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.7
長野(n=597)	36.7	49.1	7.0	0.7	0.2	0.2	1.8	0.7	1.8	1.8
岐阜(n=557)	59.6	28.4	3.6	1.3	0.0	0.0	1.6	0.7	1.3	3.6
静岡(n=1,070)	40.2	50.4	4.2	0.3	0.0	0.1	1.0	0.1	2.4	1.3
愛知(n=1,541)	50.9	41.9	1.3	0.3	0.0	0.2	0.0	0.1	3.4	2.1
三重(n=661)	41.8	55.1	0.8	0.5	0.0	0.5	0.2	0.2	0.8	0.5
滋賀(n=440)	24.8	58.0	3.9	0.9	0.0	2.3	0.0	0.5	7.5	2.3
京都(n=652)	38.3	45.4	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	5.4	4.1
大阪(n=1,933)	44.9	47.9	1.3	0.2	0.1	0.3	0.1	0.5	3.4	1.4
兵庫(n=1,633)	35.8	53.2	3.2	0.4	0.0	0.0	0.1	0.1	3.2	4.1
奈良(n=431)	34.3	45.2	0.2	1.9	0.0	4.6	0.0	0.0	9.5	4.2
和歌山(n=374)	52.4	40.1	2.9	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.8
鳥取(n=214)	37.9	53.7	4.7	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0
島根(n=271)	30.6	44.6	15.9	1.1	0.4	0.0	0.0	0.0	2.2	5.2
岡山(n=462)	39.4	52.8	1.7	1.5	0.0	0.0	0.4	0.9	1.3	1.9
広島(n=681)	50.4	37.7	4.1	0.3	0.0	0.0	0.0	1.8	2.6	3.1
山口(n=525)	29.7	50.5	9.1	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	4.0
徳島(n=328)	42.1	36.6	8.8	0.0	1.8	0.0	0.0	0.3	4.0	6.4
香川(n=313)	37.7	52.1	2.9	1.6	0.0	0.0	2.2	1.0	2.2	0.3
愛媛(n=283)	43.1	49.8	4.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.7
高知(n=192)	55.7	41.1	2.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
福岡(n=1,175)	39.8	48.7	5.4	0.9	0.0	0.3	0.1	0.6	3.1	1.1
佐賀(n=319)	46.4	41.4	4.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	4.7
長崎(n=574)	38.7	40.6	9.2	3.3	0.7	0.7	0.3	0.9	3.1	2.4
熊本(n=605)	36.5	50.9	8.6	0.2	0.2	0.7	0.5	0.7	1.3	0.5
大分(n=264)	39.0	53.8	6.4	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
宮崎(n=480)	30.8	42.9	12.5	6.5	0.2	1.0	0.4	0.4	4.0	1.3
鹿児島(n=840)	44.9	38.6	11.5	1.9	0.1	0.6	0.1	0.0	1.0	1.3
沖縄(n=387)	31.8	42.1	10.9	2.6	0.0	0.0	0.0	0.5	8.3	3.9
全国(n=31,532)	39.2	47.5	5.4	1.0	0.1	0.3	0.2	0.4	3.2	2.6

1-3 学校保健計画に環境衛生検査の記載状況について



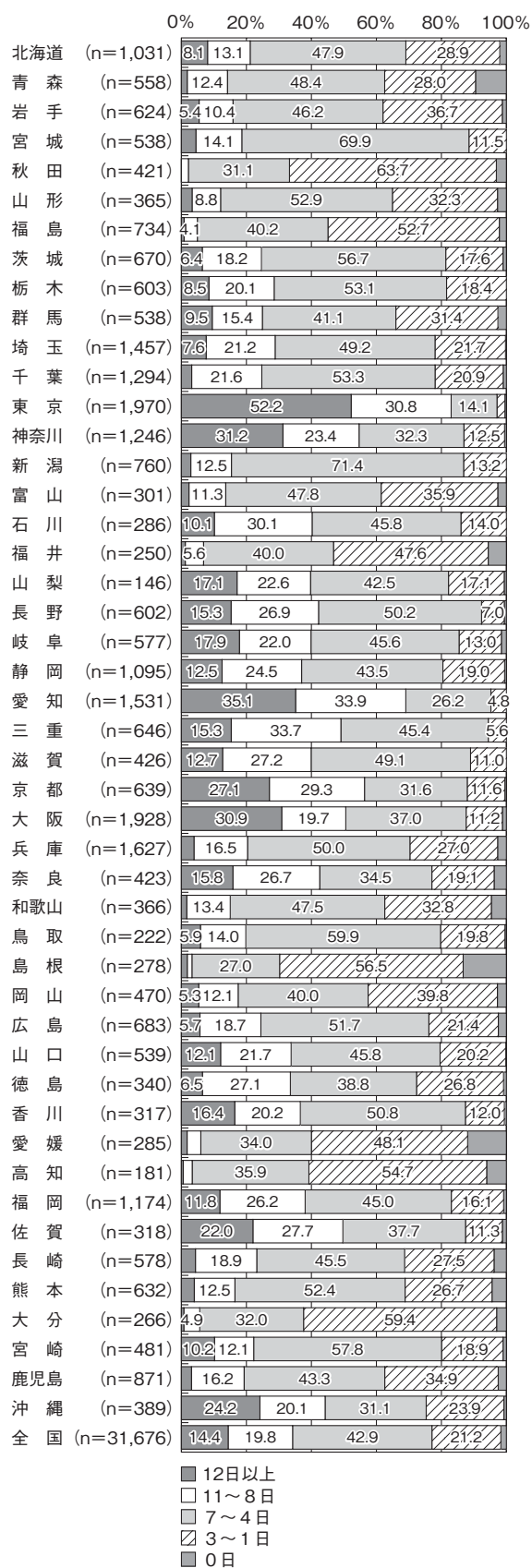
1-4 環境衛生検査の実施状況について(グラフ数値29ページ)



1-4 環境衛生検査の実施状況について

	1. 学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した	2. 一部実施していない項目がある	3. まったく実施していない	4. 分からない
北海道(n=980)	33.7	56.4	3.5	6.4
青森(n=559)	29.0	62.3	5.2	3.6
岩手(n=612)	23.4	74.7	1.1	0.8
宮城(n=519)	58.2	40.7	0.2	1.0
秋田(n=408)	12.0	82.6	1.7	3.7
山形(n=355)	24.5	69.9	3.7	2.0
福島(n=717)	12.4	83.5	3.3	0.7
茨城(n=662)	29.0	69.6	0.8	0.6
栃木(n=585)	32.3	65.6	0.2	1.9
群馬(n=540)	43.5	47.0	2.4	7.0
埼玉(n=1,411)	44.6	54.6	0.4	0.4
千葉(n=1,268)	48.5	49.6	0.6	1.3
東京(n=1,889)	60.2	37.9	0.5	1.4
神奈川(n=1,206)	69.1	29.2	0.4	1.3
新潟(n=740)	52.6	45.7	0.1	1.6
富山(n=291)	34.4	58.1	5.2	2.4
石川(n=279)	27.6	69.2	2.5	0.7
福井(n=243)	35.8	59.7	2.9	1.6
山梨(n=138)	31.2	64.5	0.0	4.3
長野(n=588)	52.7	45.7	0.2	1.4
岐阜(n=575)	31.5	66.6	1.0	0.9
静岡(n=1,049)	39.7	55.3	1.3	3.7
愛知(n=1,518)	67.6	31.6	0.0	0.9
三重(n=648)	45.5	50.6	0.6	3.2
滋賀(n=421)	36.8	61.0	1.0	1.2
京都(n=628)	51.6	46.7	1.4	0.3
大阪(n=1,850)	43.4	53.7	0.9	2.1
兵庫(n=1,570)	33.4	59.0	4.4	3.2
奈良(n=418)	23.4	62.7	10.5	3.3
和歌山(n=356)	26.7	64.3	3.7	5.3
鳥取(n=209)	21.1	78.0	0.5	0.5
島根(n=265)	10.2	78.9	6.4	4.5
岡山(n=449)	22.7	69.0	2.2	6.0
広島(n=657)	21.2	75.6	1.5	1.7
山口(n=524)	19.7	77.5	2.3	0.6
徳島(n=322)	50.9	47.5	0.6	0.9
香川(n=310)	61.9	34.8	0.3	2.9
愛媛(n=281)	24.6	69.4	2.8	3.2
高知(n=182)	24.7	68.1	4.9	2.2
福岡(n=1,137)	30.5	63.5	2.0	4.0
佐賀(n=309)	19.7	78.6	1.0	0.6
長崎(n=550)	27.8	68.7	2.5	0.9
熊本(n=627)	31.4	64.9	1.4	2.2
大分(n=241)	44.8	46.9	1.2	7.1
宮崎(n=450)	39.1	58.7	1.3	0.9
鹿児島(n=840)	43.2	55.0	1.0	0.8
沖縄(n=382)	33.2	66.5	0.3	0.0
全国(n=30,758)	40.1	56.1	1.7	2.1

2-1 平成27年度における学校薬剤師の出校日数（電話対応を含む。）について（グラフ数値31ページ）



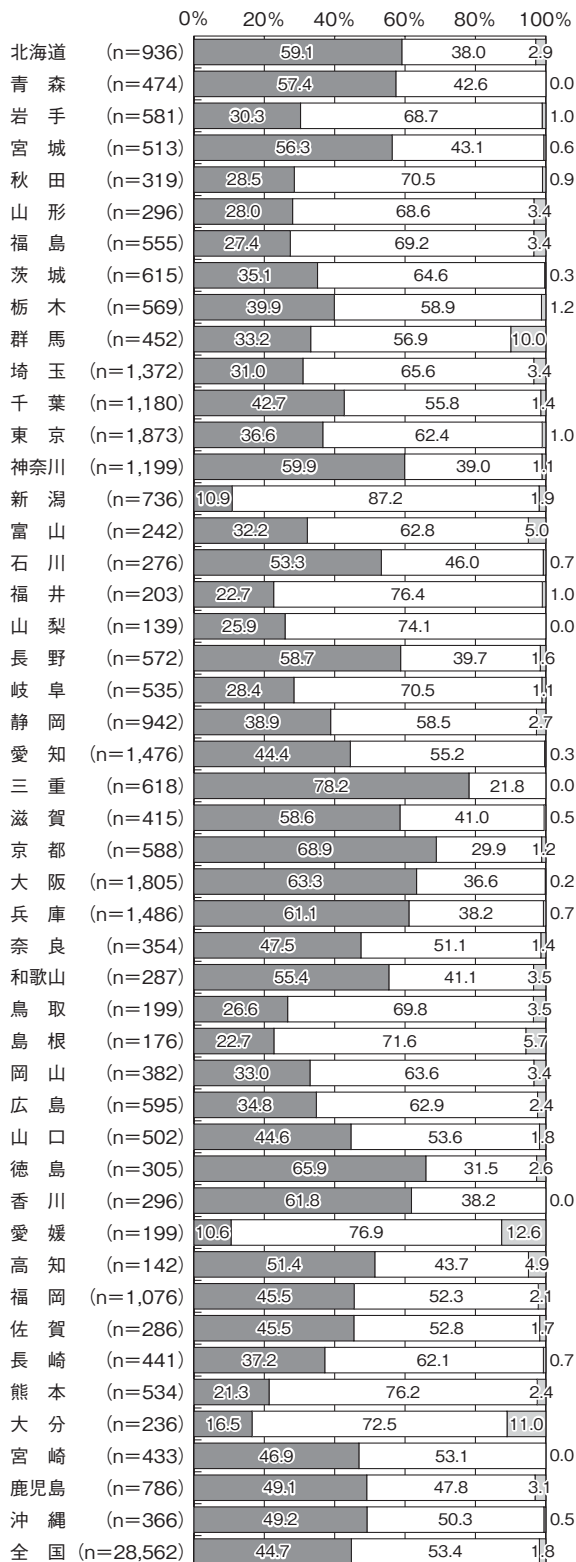
2-1 平成27年度における学校薬剤師の出校日数（電話対応を含む。）について

	1. 12日以上	2. 11～8日	3. 7～4日	4. 3～1日	5. 0日
北海道(n=1,031)	8.1	13.1	47.9	28.9	2.0
青森(n=558)	1.8	12.4	48.4	28.0	9.5
岩手(n=624)	5.4	10.4	46.2	36.7	1.3
宮城(n=538)	4.5	14.1	69.9	11.5	0.0
秋田(n=421)	0.0	2.1	31.1	63.7	3.1
山形(n=365)	3.3	8.8	52.9	32.3	2.7
福島(n=734)	0.8	4.1	40.2	52.7	2.2
茨城(n=670)	6.4	18.2	56.7	17.6	1.0
栃木(n=603)	8.5	20.1	53.1	18.4	0.0
群馬(n=538)	9.5	15.4	41.1	31.4	2.6
埼玉(n=1,457)	7.6	21.2	49.2	21.7	0.3
千葉(n=1,294)	3.2	21.6	53.3	20.9	1.0
東京(n=1,970)	52.2	30.8	14.1	2.4	0.5
神奈川(n=1,246)	31.2	23.4	32.3	12.5	0.6
新潟(n=760)	2.9	12.5	71.4	13.2	0.0
富山(n=301)	2.3	11.3	47.8	35.9	2.7
石川(n=286)	10.1	30.1	45.8	14.0	0.0
福井(n=250)	1.2	5.6	40.0	47.6	5.6
山梨(n=146)	17.1	22.6	42.5	17.1	0.7
長野(n=602)	15.3	26.9	50.2	7.0	0.7
岐阜(n=577)	17.9	22.0	45.6	13.0	1.6
静岡(n=1,095)	12.5	24.5	43.5	19.0	0.5
愛知(n=1,531)	35.1	33.9	26.2	4.8	0.0
三重(n=646)	15.3	33.7	45.4	5.6	0.0
滋賀(n=426)	12.7	27.2	49.1	11.0	0.0
京都(n=639)	27.1	29.3	31.6	11.6	0.5
大阪(n=1,928)	30.9	19.7	37.0	11.2	1.2
兵庫(n=1,627)	3.9	16.5	50.0	27.0	2.7
奈良(n=423)	15.8	26.7	34.5	19.1	3.8
和歌山(n=366)	1.6	13.4	47.5	32.8	4.6
鳥取(n=222)	5.9	14.0	59.9	19.8	0.5
島根(n=278)	1.8	1.4	27.0	56.5	13.3
岡山(n=470)	5.3	12.1	40.0	39.8	2.8
広島(n=683)	5.7	18.7	51.7	21.4	2.5
山口(n=539)	12.1	21.7	45.8	20.2	0.2
徳島(n=340)	6.5	27.1	38.8	26.8	0.9
香川(n=317)	16.4	20.2	50.8	12.0	0.6
愛媛(n=285)	1.8	4.2	34.0	48.1	11.9
高知(n=181)	0.6	2.8	35.9	54.7	6.1
福岡(n=1,174)	11.8	26.2	45.0	16.1	0.9
佐賀(n=318)	22.0	27.7	37.7	11.3	1.3
長崎(n=578)	4.3	18.9	45.5	27.5	3.8
熊本(n=632)	4.0	12.5	52.4	26.7	4.4
大分(n=266)	0.8	4.9	32.0	59.4	3.0
宮崎(n=481)	10.2	12.1	57.8	18.9	1.0
鹿児島(n=871)	3.1	16.2	43.3	34.9	2.5
沖縄(n=389)	24.2	20.1	31.1	23.9	0.8
全国(n=31,676)	14.4	19.8	42.9	21.2	1.7

2-2 出校した人にお聞きします。何が目的でしたか。(複数回答可)

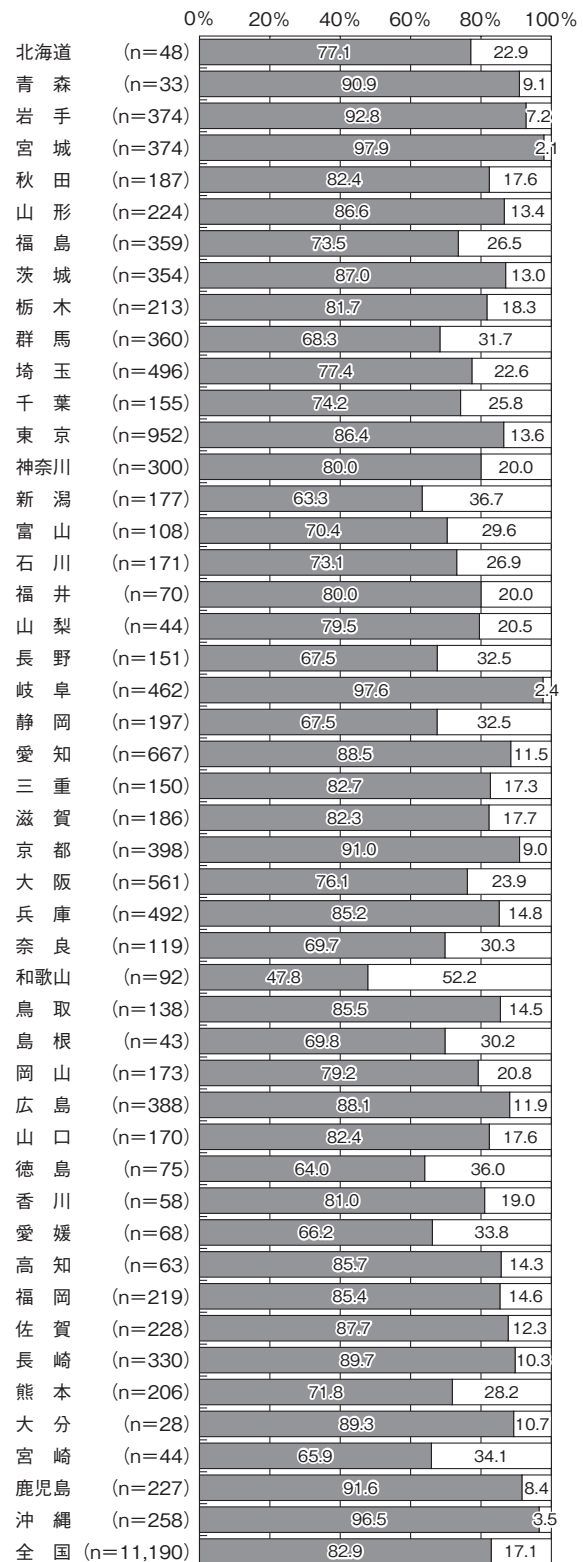
	1. 定期検査	2. 臨時検査	3. 学校保健委員会への参画	4. 保健教育に関する講話・講演及び支援	5. その他
北海道(n=997)	96.3	8.9	5.1	7.2	9.4
青森(n=503)	96.2	12.7	7.4	24.1	9.3
岩手(n=615)	95.6	3.7	61.3	56.6	6.7
宮城(n=538)	99.1	9.9	71.6	23.8	7.8
秋田(n=406)	81.0	10.6	46.8	27.3	14.0
山形(n=353)	87.0	9.9	65.7	16.1	21.2
福島(n=714)	80.4	8.8	51.8	23.0	10.6
茨城(n=658)	97.1	7.0	55.8	14.7	18.8
栃木(n=598)	99.3	7.4	37.6	18.6	19.7
群馬(n=523)	87.6	6.1	70.6	18.2	19.7
埼玉(n=1,446)	97.0	5.3	35.5	19.4	12.3
千葉(n=1,268)	98.7	3.6	13.2	7.7	9.0
東京(n=1,942)	98.9	14.2	51.0	27.7	10.2
神奈川(n=1,231)	99.3	19.5	25.2	19.8	11.9
新潟(n=756)	99.7	4.0	24.5	26.9	7.7
富山(n=289)	85.5	9.0	38.4	20.4	19.0
石川(n=285)	100.0	8.1	61.1	43.5	15.8
福井(n=234)	89.3	10.3	31.2	32.5	9.0
山梨(n=144)	97.9	8.3	31.3	14.6	13.9
長野(n=593)	98.7	11.3	26.3	35.9	11.5
岐阜(n=565)	96.5	12.0	83.0	43.2	15.9
静岡(n=1078)	90.1	6.1	18.7	74.0	10.3
愛知(n=1,525)	99.0	13.8	45.6	14.8	15.1
三重(n=641)	99.7	5.5	24.2	17.8	17.5
滋賀(n=426)	99.3	3.8	43.9	14.3	10.6
京都(n=633)	95.9	15.6	67.0	22.6	12.0
大阪(n=1,892)	98.5	14.5	30.7	38.0	10.1
兵庫(n=1,574)	97.2	9.5	32.1	10.4	7.8
奈良(n=399)	92.5	9.5	31.3	19.8	22.3
和歌山(n=340)	91.5	6.5	28.2	9.4	16.5
鳥取(n=220)	95.0	11.8	66.4	20.0	10.9
島根(n=238)	76.5	11.3	18.9	14.3	29.0
岡山(n=447)	90.2	13.0	40.0	22.8	18.8
広島(n=662)	93.1	9.7	62.4	44.3	8.0
山口(n=535)	98.7	9.5	33.3	29.3	9.2
徳島(n=331)	98.2	4.8	23.9	20.5	5.1
香川(n=314)	98.4	12.1	19.7	6.4	3.8
愛媛(n=246)	82.5	9.3	29.3	17.5	16.7
高知(n=169)	89.9	4.7	39.6	11.8	5.3
福岡(n=1,158)	95.8	12.7	19.6	22.8	13.3
佐賀(n=313)	95.2	10.2	75.7	47.9	16.9
長崎(n=552)	84.2	5.4	60.9	40.8	6.7
熊本(n=600)	91.3	13.7	35.2	52.5	9.5
大分(n=258)	94.2	8.5	12.0	8.9	10.1
宮崎(n=475)	99.2	6.3	9.3	24.0	5.9
鹿児島(n=837)	97.5	6.9	28.4	44.9	6.8
沖縄(n=384)	98.4	11.5	69.3	19.3	13.5
全国(n=30,905)	95.5	9.9	37.5	26.1	11.7

2-3 定期検査のために出校した人で、「学校環境衛生基準」に基づく定期検査への関与状況について



■ 学校で実施しているすべての検査項目においてサンプリングや測定を自ら行う
 □ 一部の検査項目ではサンプリングや測定を自ら行うが、検査項目によっては他者が行うサンプリングや測定に対する指導助言のみの場合もある
 ■ 他者が行うサンプリングや測定に対する指導助言のみ

2-4 学校保健委員会に参画した人で、議事における環境衛生検査に関する指導助言等の有無について

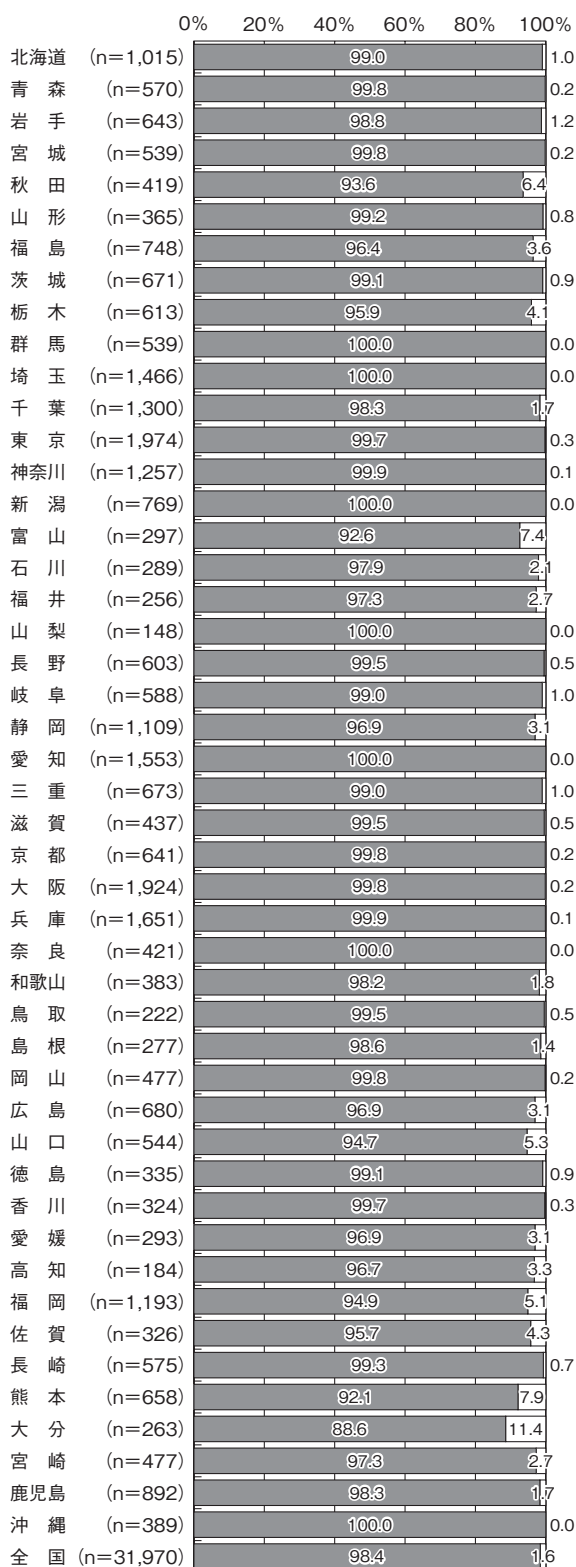


■ あった
 □ なかった

2-5 保健に関する講話・講演及び支援を行った人に対して、講話・講演及び支援の題材について（複数回答可）

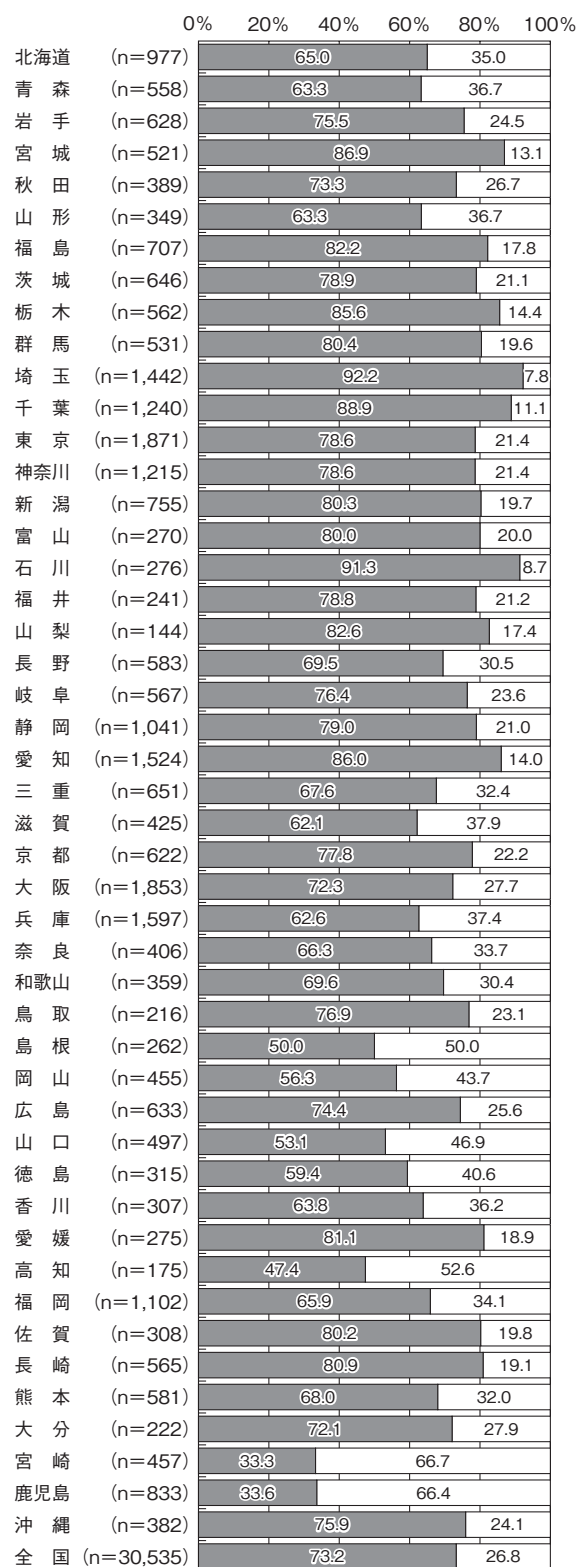
	1. 医薬品	2. 喫煙、飲酒防止	3. 薬物乱用防止	4. 学校環境衛生	5. その他
北海道(n=70)	48.6	32.9	81.4	5.7	4.3
青森(n=113)	29.2	68.1	61.9	2.7	4.4
岩手(n=347)	45.0	63.7	93.1	5.5	4.6
宮城(n=122)	24.6	42.6	94.3	9.8	4.1
秋田(n=109)	33.9	35.8	73.4	10.1	13.8
山形(n=56)	42.9	55.4	62.5	16.1	3.6
福島(n=163)	42.9	49.1	87.1	9.8	3.1
茨城(n=96)	37.5	24.0	62.5	14.6	10.4
栃木(n=106)	43.4	30.2	72.6	18.9	17.0
群馬(n=92)	41.3	35.9	48.9	28.3	25.0
埼玉(n=277)	37.9	44.0	73.3	11.2	15.5
千葉(n=94)	55.3	42.6	60.6	4.3	9.6
東京(n=532)	46.8	26.7	81.0	12.0	6.2
神奈川(n=239)	39.7	37.7	66.1	18.4	10.5
新潟(n=201)	47.3	49.3	86.6	7.5	6.5
富山(n=57)	28.1	24.6	59.6	8.8	21.1
石川(n=122)	32.8	62.3	74.6	13.9	17.2
福井(n=74)	31.1	47.3	81.1	5.4	12.2
山梨(n=19)	68.4	26.3	68.4	0.0	0.0
長野(n=202)	40.1	68.8	80.7	7.4	3.0
岐阜(n=243)	32.5	50.6	93.0	21.4	7.4
静岡(n=790)	75.9	75.6	74.7	6.7	4.6
愛知(n=220)	56.8	27.7	48.6	20.0	13.2
三重(n=110)	77.3	52.7	73.6	10.0	6.4
滋賀(n=60)	28.3	50.0	73.3	11.7	8.3
京都(n=139)	43.9	43.2	81.3	15.8	3.6
大阪(n=707)	59.0	49.9	83.9	9.2	8.1
兵庫(n=153)	35.9	35.3	61.4	18.3	13.7
奈良(n=78)	53.8	50.0	73.1	29.5	10.3
和歌山(n=32)	40.6	40.6	59.4	12.5	12.5
鳥取(n=42)	47.6	33.3	83.3	14.3	4.8
島根(n=34)	29.4	70.6	67.6	0.0	11.8
岡山(n=101)	39.6	48.5	78.2	12.9	8.9
広島(n=287)	31.7	57.1	87.8	13.6	6.6
山口(n=156)	21.8	52.6	86.5	10.9	5.1
徳島(n=67)	28.4	71.6	76.1	4.5	3.0
香川(n=20)	35.0	50.0	80.0	25.0	10.0
愛媛(n=41)	41.5	56.1	61.0	14.6	12.2
高知(n=20)	30.0	65.0	60.0	25.0	15.0
福岡(n=257)	19.8	56.4	85.2	8.6	1.9
佐賀(n=150)	8.0	60.0	74.0	7.3	0.7
長崎(n=223)	26.0	49.3	91.0	5.4	4.0
熊本(n=312)	39.1	72.4	91.0	6.7	3.8
大分(n=23)	26.1	34.8	91.3	4.3	0.0
宮崎(n=112)	33.0	51.8	58.9	16.1	27.7
鹿児島(n=370)	28.9	71.4	83.2	10.3	24.1
沖縄(n=72)	31.9	76.4	73.6	9.7	12.5
全国(n=7,910)	43.3	52.4	78.4	10.9	8.5

A-1 主に飲料水として利用されている水（給食施設を除く）について



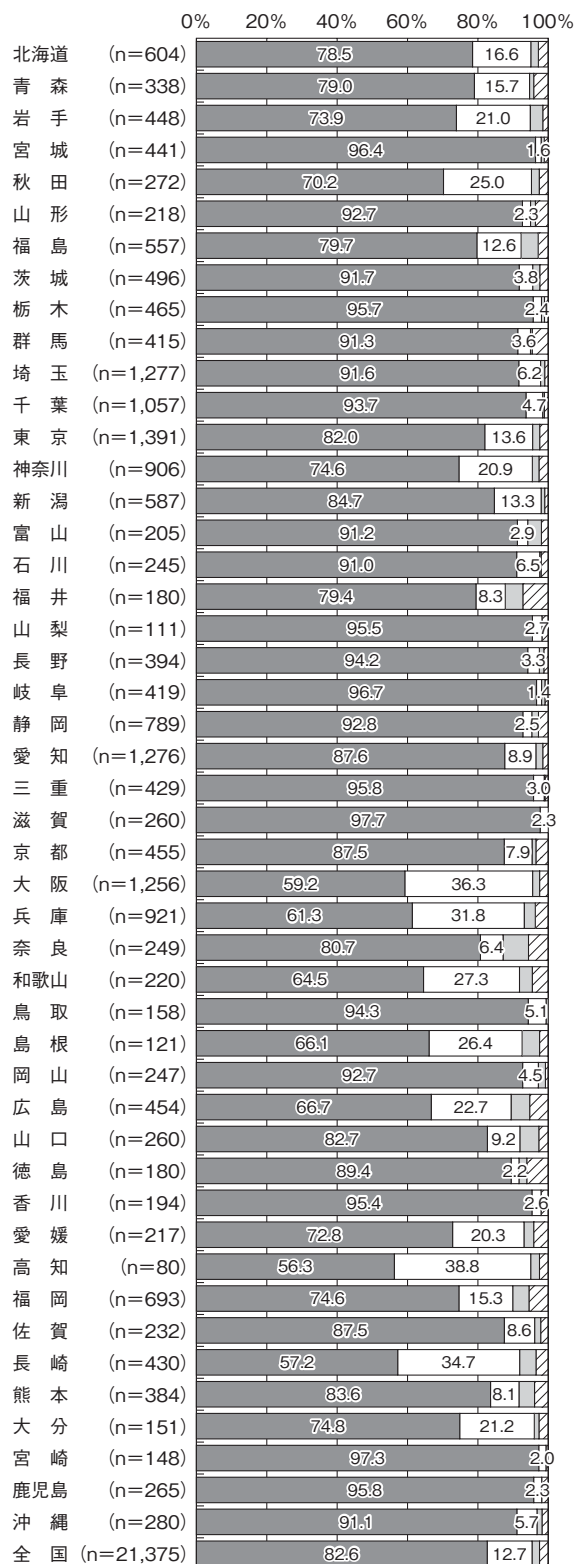
■ 上水道等、他の施設から給水
□ 学校が自ら所有する井戸水等

A-2 上水道等、他の施設から給水している学校の貯水槽（受水槽、高置水槽等）の有無について



■ 貯水槽あり
□ 貯水槽なし（直結給水のみ）

A-3 貯水槽（受水槽、高置水槽等）がある学校の学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施状況について（グラフ数値37ページ）



- 学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した
- 実施したが、一部実施しなかった項目がある
- まったく実施しなかった
- ▨ 分からない

A-3 貯水槽（受水槽、高置水槽等）がある学校の学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施状況について

	1. 学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した	2. 実施したが、一部実施しなかった項目がある	3. まったく実施しなかった	4. 分からない
北海道(n=604)	78.5	16.6	2.2	2.8
青森(n=338)	79.0	15.7	1.2	4.1
岩手(n=448)	73.9	21.0	3.6	1.6
宮城(n=441)	96.4	1.6	0.9	1.1
秋田(n=272)	70.2	25.0	2.2	2.6
山形(n=218)	92.7	2.3	1.4	3.7
福島(n=557)	79.7	12.6	4.8	2.9
茨城(n=496)	91.7	3.8	2.0	2.4
栃木(n=465)	95.7	2.4	0.9	1.1
群馬(n=415)	91.3	3.6	0.5	4.6
埼玉(n=1,277)	91.6	6.2	1.2	1.0
千葉(n=1,057)	93.7	4.7	0.5	1.1
東京(n=1,391)	82.0	13.6	2.0	2.4
神奈川(n=906)	74.6	20.9	1.9	2.6
新潟(n=587)	84.7	13.3	1.0	1.0
富山(n=205)	91.2	2.9	3.9	2.0
石川(n=245)	91.0	6.5	0.4	2.0
福井(n=180)	79.4	8.3	5.0	7.2
山梨(n=111)	95.5	2.7	0.0	1.8
長野(n=394)	94.2	3.3	1.3	1.3
岐阜(n=419)	96.7	1.4	1.0	1.0
静岡(n=789)	92.8	2.5	1.9	2.8
愛知(n=1,276)	87.6	8.9	2.0	1.6
三重(n=429)	95.8	3.0	0.2	0.9
滋賀(n=260)	97.7	2.3	0.0	0.0
京都(n=455)	87.5	7.9	1.1	3.5
大阪(n=1,256)	59.2	36.3	2.0	2.5
兵庫(n=921)	61.3	31.8	3.1	3.7
奈良(n=249)	80.7	6.4	7.2	5.6
和歌山(n=220)	64.5	27.3	3.6	4.5
鳥取(n=158)	94.3	5.1	0.6	0.0
島根(n=121)	66.1	26.4	5.0	2.5
岡山(n=247)	92.7	4.5	2.0	0.8
広島(n=454)	66.7	22.7	5.3	5.3
山口(n=260)	82.7	9.2	5.4	2.7
徳島(n=180)	89.4	2.2	2.2	6.1
香川(n=194)	95.4	2.6	0.0	2.1
愛媛(n=217)	72.8	20.3	2.8	4.1
高知(n=80)	56.3	38.8	2.5	2.5
福岡(n=693)	74.6	15.3	4.6	5.5
佐賀(n=232)	87.5	8.6	1.7	2.2
長崎(n=430)	57.2	34.7	4.7	3.5
熊本(n=384)	83.6	8.1	4.4	3.9
大分(n=151)	74.8	21.2	1.3	2.6
宮崎(n=148)	97.3	2.0	0.0	0.7
鹿児島(n=265)	95.8	2.3	0.0	1.9
沖縄(n=280)	91.1	5.7	1.4	1.8
全国(n=21,375)	82.6	12.7	2.1	2.5

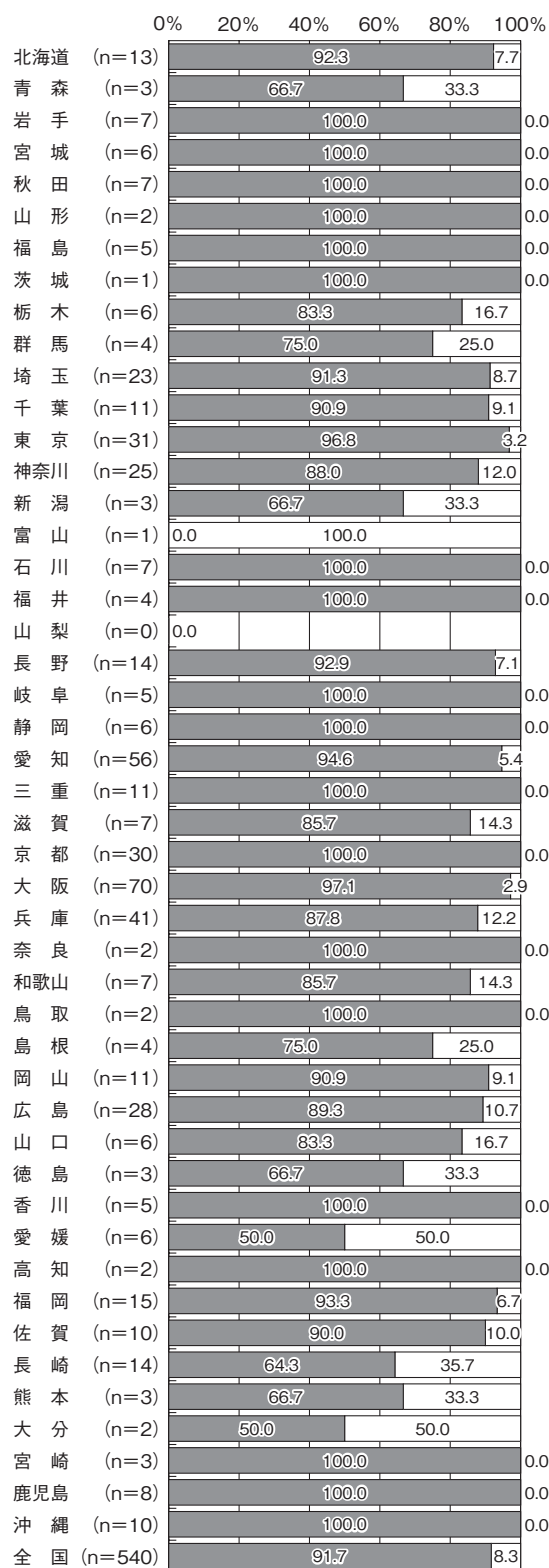
A-4 貯水槽（受水槽、高置水槽等）があり、「学校環境衛生検査に基づいた水質検査を実施したが、一部実施しなかった項目がある」（12.7%）のうち、実施した水質検査の項目について（複数回答）

	1. 一般細菌	2. 大腸菌	3. 塩化物イオン	4. 有機物等	5. pH値	6. 味	7. 臭気	8. 色度	9. 濁度	10. 遊離残留塩素
北海道(n=97)	21.6	25.8	22.7	16.5	54.6	67.0	75.3	50.5	41.2	95.9
青森(n=53)	24.5	26.4	9.4	30.2	96.2	90.6	94.3	88.7	96.2	92.5
岩手(n=93)	11.8	11.8	9.7	10.8	34.4	77.4	80.6	67.7	74.2	92.5
宮城(n=7)	71.4	71.4	42.9	71.4	71.4	57.1	100.0	100.0	100.0	100.0
秋田(n=68)	13.2	13.2	5.9	14.7	67.6	69.1	72.1	52.9	47.1	98.5
山形(n=5)	60.0	40.0	80.0	60.0	80.0	40.0	60.0	60.0	60.0	100.0
福島(n=69)	5.8	5.8	1.4	1.4	37.7	59.4	65.2	56.5	62.3	97.1
茨城(n=19)	57.9	52.6	42.1	36.8	42.1	78.9	84.2	68.4	78.9	84.2
栃木(n=10)	90.0	90.0	30.0	50.0	70.0	40.0	40.0	30.0	40.0	90.0
群馬(n=14)	21.4	21.4	28.6	21.4	42.9	71.4	71.4	42.9	64.3	100.0
埼玉(n=78)	19.2	19.2	12.8	15.4	37.2	87.2	89.7	80.8	76.9	92.3
千葉(n=48)	20.8	16.7	16.7	14.6	43.8	72.9	87.5	68.8	75.0	93.8
東京(n=189)	23.3	24.3	20.6	19.6	47.6	80.4	85.7	58.2	57.1	92.1
神奈川(n=187)	7.0	7.0	5.3	4.3	20.9	75.4	83.4	53.5	50.3	97.3
新潟(n=75)	22.7	25.3	26.7	26.7	34.7	88.0	84.0	38.7	40.0	94.7
富山(n=6)	16.7	16.7	0.0	16.7	50.0	83.3	83.3	66.7	100.0	100.0
石川(n=16)	93.8	100.0	75.0	75.0	81.3	75.0	81.3	87.5	100.0	100.0
福井(n=15)	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	66.7	73.3	53.3	53.3	86.7
山梨(n=3)	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	100.0	100.0	100.0	66.7
長野(n=12)	41.7	50.0	25.0	41.7	66.7	66.7	66.7	75.0	91.7	91.7
岐阜(n=5)	40.0	40.0	40.0	40.0	60.0	100.0	100.0	80.0	80.0	80.0
静岡(n=20)	40.0	35.0	25.0	25.0	50.0	75.0	80.0	75.0	85.0	90.0
愛知(n=112)	17.9	17.0	11.6	15.2	95.5	82.1	83.9	46.4	49.1	94.6
三重(n=13)	84.6	84.6	76.9	69.2	84.6	84.6	84.6	38.5	30.8	92.3
滋賀(n=6)	100.0	83.3	83.3	100.0	100.0	100.0	100.0	83.3	100.0	100.0
京都(n=35)	31.4	20.0	2.9	25.7	37.1	57.1	71.4	40.0	45.7	82.9
大阪(n=452)	30.1	31.2	6.9	7.5	80.5	75.4	89.6	56.9	65.5	94.2
兵庫(n=291)	47.8	50.9	6.9	29.9	61.5	71.5	79.0	53.3	63.6	96.2
奈良(n=16)	31.3	37.5	31.3	25.0	56.3	68.8	75.0	87.5	93.8	93.8
和歌山(n=60)	63.3	61.7	15.0	16.7	30.0	76.7	85.0	41.7	41.7	90.0
鳥取(n=7)	71.4	85.7	71.4	71.4	85.7	57.1	57.1	71.4	71.4	71.4
島根(n=32)	3.1	6.3	6.3	3.1	34.4	71.9	81.3	65.6	62.5	100.0
岡山(n=11)	90.9	81.8	45.5	63.6	63.6	45.5	45.5	36.4	63.6	90.9
広島(n=103)	15.5	13.6	6.8	8.7	60.2	68.9	73.8	53.4	58.3	93.2
山口(n=24)	66.7	75.0	29.2	70.8	83.3	95.8	95.8	83.3	79.2	91.7
徳島(n=4)	75.0	75.0	50.0	50.0	75.0	25.0	25.0	75.0	75.0	100.0
香川(n=5)	100.0	100.0	40.0	40.0	100.0	80.0	100.0	100.0	100.0	60.0
愛媛(n=44)	29.5	29.5	20.5	20.5	34.1	70.5	79.5	63.6	70.5	88.6
高知(n=31)	16.1	22.6	9.7	12.9	71.0	45.2	54.8	54.8	58.1	93.5
福岡(n=106)	33.0	35.8	15.1	8.5	68.9	65.1	72.6	43.4	45.3	94.3
佐賀(n=20)	35.0	65.0	15.0	15.0	65.0	60.0	60.0	65.0	75.0	90.0
長崎(n=143)	17.5	16.1	3.5	7.7	55.2	51.0	53.1	30.1	36.4	95.8
熊本(n=31)	38.7	58.1	29.0	32.3	67.7	71.0	80.6	61.3	61.3	93.5
大分(n=32)	65.6	65.6	56.3	65.6	90.6	62.5	75.0	65.6	75.0	81.3
宮崎(n=3)	66.7	66.7	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	66.7	66.7	100.0
鹿児島(n=6)	66.7	66.7	66.7	66.7	83.3	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0
沖縄(n=16)	75.0	68.8	31.3	75.0	81.3	75.0	75.0	37.5	31.3	87.5
全国(n=2,692)	29.0	30.1	13.9	18.3	58.7	72.6	79.8	55.7	59.7	93.8

A-5 貯水槽（受水槽、高置水槽等）があり、学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施につき、「同基準に定められたすべての項目を実施」もしくは、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」と回答の学校で、水質基準に不適合な項目について（複数回答）

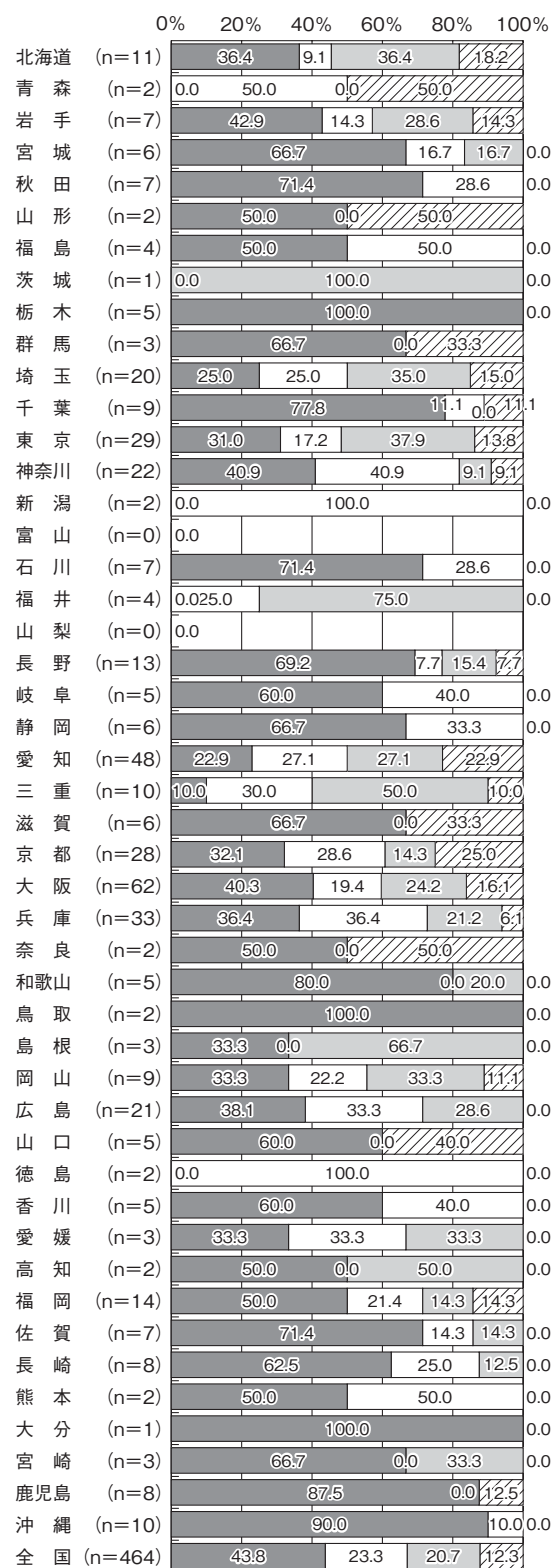
	1. 一般細菌	2. 大腸菌	3. 塩化物イオン	4. 有機物等	5. pH値	6. 味	7. 臭気	8. 色度	9. 濁度	10. 遊離残留塩素	11. すべて適合
北海道(n=518)	3.1	3.1	2.5	1.9	2.5	2.5	2.9	2.5	2.7	6.2	95.8
青森(n=314)	1.9	1.0	1.0	1.6	2.2	1.3	0.6	2.9	1.6	1.6	99.0
岩手(n=403)	0.5	0.5	0.2	0.2	0.5	0.5	0.5	0.7	0.7	2.7	98.3
宮城(n=414)	1.9	2.9	1.0	0.7	1.2	1.0	0.5	0.7	1.0	1.9	97.8
秋田(n=242)	0.8	0.8	0.4	0.8	0.8	0.8	1.2	0.8	0.4	3.7	96.7
山形(n=202)	3.0	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	2.0	2.0	1.5	2.5	99.0
福島(n=480)	2.7	1.5	1.0	1.7	1.7	1.3	1.5	1.9	1.5	2.5	98.3
茨城(n=454)	1.3	0.7	0.7	0.7	0.7	0.9	0.7	0.9	0.4	0.9	99.3
栃木(n=436)	3.9	2.3	1.6	2.1	1.6	1.8	1.6	3.2	1.8	2.5	98.4
群馬(n=388)	2.1	0.5	1.0	1.3	0.8	1.3	1.3	1.0	1.0	2.1	98.5
埼玉(n=1,200)	2.0	1.3	1.3	1.1	1.3	1.6	1.4	1.5	1.3	3.2	97.9
千葉(n=982)	2.1	1.5	1.0	1.5	1.2	1.4	1.2	1.4	1.4	1.8	98.5
東京(n=1,253)	2.2	1.5	1.0	1.9	1.5	1.2	1.1	1.3	1.2	3.8	96.6
神奈川(n=802)	2.1	1.2	1.1	0.9	1.2	1.5	2.0	1.4	1.6	4.4	96.0
新潟(n=549)	2.7	2.6	2.2	2.7	2.2	2.0	1.8	2.6	2.9	2.6	99.3
富山(n=179)	6.7	1.7	0.6	1.1	1.7	0.0	0.6	1.7	0.0	1.7	98.3
石川(n=231)	3.0	2.2	1.7	2.6	1.3	3.0	3.0	1.7	3.0	3.9	96.5
福井(n=150)	2.0	1.3	0.7	0.7	2.0	1.3	2.0	2.0	1.3	4.0	96.7
山梨(n=107)	0.9	0.0	0.9	0.0	1.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	100.0
長野(n=368)	3.0	3.0	2.7	2.7	3.5	1.6	2.2	3.8	1.9	4.6	96.2
岐阜(n=394)	2.5	2.0	1.5	0.5	1.5	1.0	1.5	1.8	1.3	1.8	98.5
静岡(n=729)	2.5	1.5	1.5	1.1	1.5	1.2	0.8	1.5	1.4	1.6	98.6
愛知(n=1,181)	1.9	1.0	1.0	1.1	1.8	1.8	1.8	2.0	1.4	6.8	93.9
三重(n=411)	1.7	1.2	1.2	1.2	1.0	1.2	1.7	0.7	0.7	3.2	97.3
滋賀(n=252)	2.0	1.2	1.2	1.6	1.2	2.0	0.8	1.2	1.6	3.2	96.8
京都(n=413)	4.1	3.1	2.4	2.7	8.2	2.9	2.4	2.4	2.2	11.1	90.8
大阪(n=1,105)	2.6	2.8	1.3	1.0	3.3	2.9	3.5	3.1	3.4	8.2	92.4
兵庫(n=785)	2.4	2.8	0.9	1.0	2.2	1.1	1.3	0.9	1.1	6.1	94.0
奈良(n=201)	1.0	1.5	0.0	0.0	0.5	2.0	1.0	2.0	1.5	2.0	98.0
和歌山(n=186)	5.9	5.4	2.2	1.6	4.8	2.2	3.2	2.7	4.8	8.6	93.5
鳥取(n=146)	2.1	0.7	0.7	0.7	0.7	2.1	2.7	2.1	2.1	2.1	98.6
島根(n=104)	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.9	0.0	5.8	95.2
岡山(n=235)	3.8	2.1	2.1	2.6	1.7	1.7	2.6	2.1	2.6	4.7	95.3
広島(n=369)	3.5	2.2	2.2	1.9	2.2	2.4	2.4	3.3	2.7	9.5	91.1
山口(n=228)	1.8	1.8	1.3	1.8	1.8	1.8	1.8	1.3	1.8	4.8	97.4
徳島(n=159)	3.1	1.9	1.3	0.6	1.9	0.6	1.9	1.9	0.6	1.9	98.1
香川(n=185)	4.9	2.2	2.2	1.6	1.6	2.2	1.6	4.3	3.2	4.3	97.3
愛媛(n=183)	0.5	0.5	0.0	0.5	0.5	1.6	1.1	1.6	1.1	5.5	96.7
高知(n=66)	1.5	1.5	0.0	0.0	1.5	1.5	0.0	1.5	1.5	4.5	97.0
福岡(n=586)	2.9	1.5	1.2	1.2	1.2	1.5	1.7	1.7	1.2	3.8	96.8
佐賀(n=212)	2.4	1.9	1.4	1.4	2.4	2.8	1.9	2.8	2.8	5.2	95.3
長崎(n=353)	2.0	1.1	0.6	0.8	3.7	2.3	2.5	2.0	2.0	6.2	94.3
熊本(n=336)	1.8	0.9	0.6	1.2	0.9	0.6	0.9	1.8	1.8	1.5	98.8
大分(n=136)	2.9	0.7	0.7	1.5	1.5	0.7	0.7	2.2	1.5	2.9	98.5
宮崎(n=145)	2.1	2.1	0.7	1.4	2.1	2.1	0.7	1.4	0.0	2.8	97.9
鹿児島(n=254)	3.1	2.4	1.2	1.2	1.2	1.6	1.2	1.6	1.6	2.0	96.5
沖縄(n=259)	2.7	2.3	1.2	1.9	0.8	1.2	1.9	1.9	1.2	5.4	95.4
全国(n=19,285)	2.4	1.7	1.2	1.3	1.8	1.6	1.6	1.8	1.6	4.1	96.5

A-6 貯水槽（受水槽、高置水槽等）があり、学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施につき、「同基準に定められたすべての項目を実施」もしくは、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」と回答の学校で、不適合項目の指導助言について



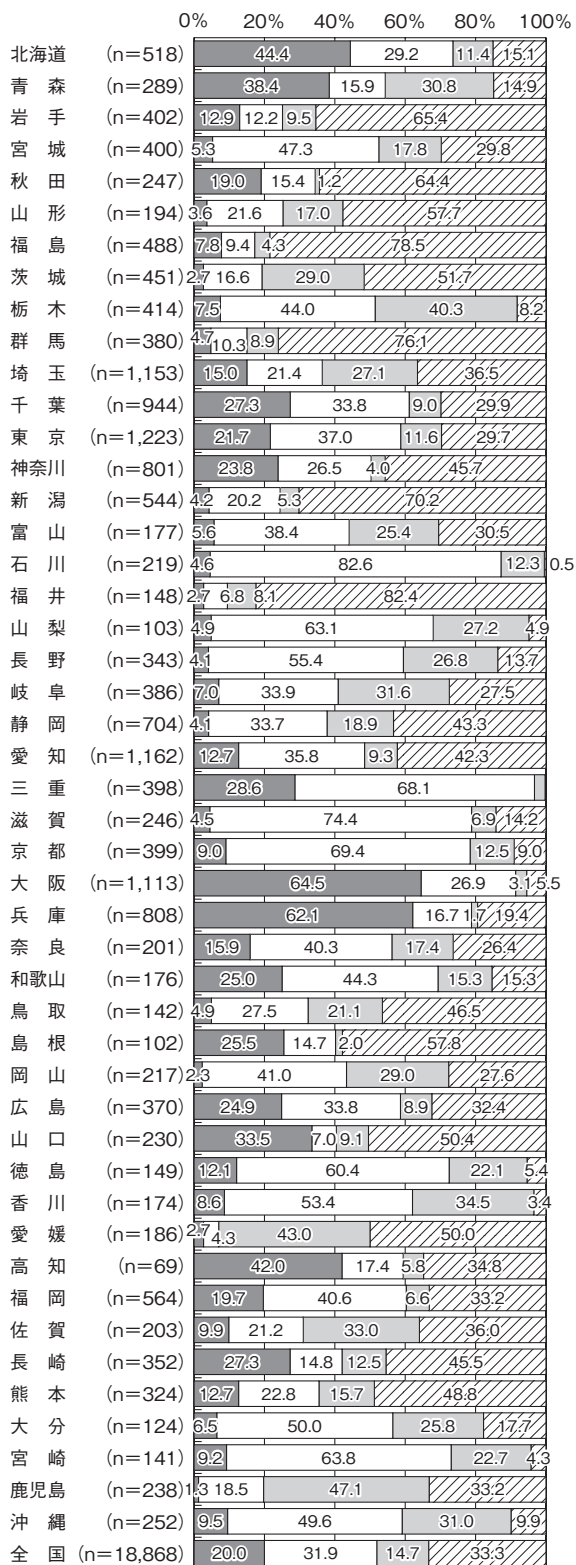
■ 行った
□ 行わなかった

A-7 貯水槽（受水槽、高置水槽等）があり、学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施につき、「同基準に定められたすべての項目を実施」もしくは、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」と回答の学校で、不適合項目について、指導助言による改善はあったか



■ すべて改善した
□ 一部改善した
▨ 改善しなかった
▧ 分からない

A-8 貯水槽(受水槽、高置水槽等)があり、学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施につき、「同基準に定められたすべての項目を実施」もしくは、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」と回答の学校で、水質検査の採水及び測定の実施者について(グラフ数値42ページ)



- 採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定はすべて学校薬剤師が実施
- 採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定は学校薬剤師と検査機関が分担して実施
- ▨ 採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定はすべて検査機関が実施
- ▩ 採水、測定共に検査機関が実施

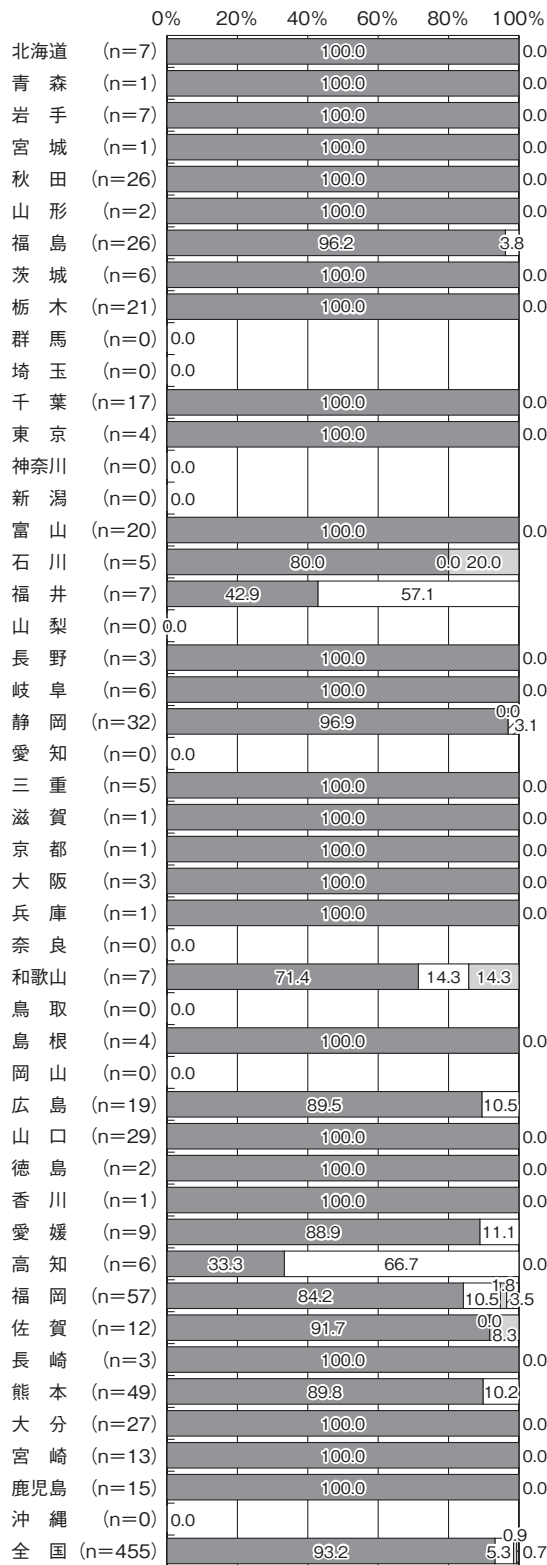
A-8 貯水槽（受水槽、高置水槽等）があり、学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施につき、「同基準に定められたすべての項目を実施」もしくは、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」と回答の学校で、水質検査の採水及び測定の実施者について

	1. 採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定はすべて学校薬剤師が実施	2. 採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定は学校薬剤師と検査機関が分担して実施	3. 採水はすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定はすべて検査機関が実施	4. 採水、測定共に検査機関が実施
北海道(n=518)	44.4	29.2	11.4	15.1
青森(n=289)	38.4	15.9	30.8	14.9
岩手(n=402)	12.9	12.2	9.5	65.4
宮城(n=400)	5.3	47.3	17.8	29.8
秋田(n=247)	19.0	15.4	1.2	64.4
山形(n=194)	3.6	21.6	17.0	57.7
福島(n=488)	7.8	9.4	4.3	78.5
茨城(n=451)	2.7	16.6	29.0	51.7
栃木(n=414)	7.5	44.0	40.3	8.2
群馬(n=380)	4.7	10.3	8.9	76.1
埼玉(n=1,153)	15.0	21.4	27.1	36.5
千葉(n=944)	27.3	33.8	9.0	29.9
東京(n=1,223)	21.7	37.0	11.6	29.7
神奈川(n=801)	23.8	26.5	4.0	45.7
新潟(n=544)	4.2	20.2	5.3	70.2
富山(n=177)	5.6	38.4	25.4	30.5
石川(n=219)	4.6	82.6	12.3	0.5
福井(n=148)	2.7	6.8	8.1	82.4
山梨(n=103)	4.9	63.1	27.2	4.9
長野(n=343)	4.1	55.4	26.8	13.7
岐阜(n=386)	7.0	33.9	31.6	27.5
静岡(n=704)	4.1	33.7	18.9	43.3
愛知(n=1,162)	12.7	35.8	9.3	42.3
三重(n=398)	28.6	68.1	3.0	0.3
滋賀(n=246)	4.5	74.4	6.9	14.2
京都(n=399)	9.0	69.4	12.5	9.0
大阪(n=1,113)	64.5	26.9	3.1	5.5
兵庫(n=808)	62.1	16.7	1.7	19.4
奈良(n=201)	15.9	40.3	17.4	26.4
和歌山(n=176)	25.0	44.3	15.3	15.3
鳥取(n=142)	4.9	27.5	21.1	46.5
島根(n=102)	25.5	14.7	2.0	57.8
岡山(n=217)	2.3	41.0	29.0	27.6
広島(n=370)	24.9	33.8	8.9	32.4
山口(n=230)	33.5	7.0	9.1	50.4
徳島(n=149)	12.1	60.4	22.1	5.4
香川(n=174)	8.6	53.4	34.5	3.4
愛媛(n=186)	2.7	4.3	43.0	50.0
高知(n=69)	42.0	17.4	5.8	34.8
福岡(n=564)	19.7	40.6	6.6	33.2
佐賀(n=203)	9.9	21.2	33.0	36.0
長崎(n=352)	27.3	14.8	12.5	45.5
熊本(n=324)	12.7	22.8	15.7	48.8
大分(n=124)	6.5	50.0	25.8	17.7
宮崎(n=141)	9.2	63.8	22.7	4.3
鹿児島(n=238)	1.3	18.5	47.1	33.2
沖縄(n=252)	9.5	49.6	31.0	9.9
全国(n=18,868)	20.0	31.9	14.7	33.3

A-9 貯水槽(受水槽、高置水槽等)があり、学校環境衛生基準に基づいた水質検査の実施につき、「同基準に定められたすべての項目を実施」もしくは、「実施したが、一部実施しなかった項目がある」と回答の学校で、水質検査の採水をすべて学校薬剤師又は学校職員が行い、測定は学校薬剤師と検査機関が分担して実施した学校のうち、学校薬剤師が測定を実施した水質検査の項目について(複数回答)

	1. 一般細菌	2. 大腸菌	3. 塩化物イオン	4. 有機物等	5. pH値	6. 味	7. 臭気	8. 色度	9. 濁度	10. 遊離残留塩素
北海道(n=147)	11.6	13.6	15.6	11.6	29.9	27.2	39.5	27.9	25.9	96.6
青森(n=45)	11.1	8.9	11.1	8.9	71.1	77.8	77.8	71.1	68.9	93.3
岩手(n=49)	10.2	8.2	8.2	6.1	59.2	49.0	63.3	44.9	53.1	98.0
宮城(n=188)	9.0	10.1	10.1	7.4	33.0	21.3	29.3	13.3	16.5	96.8
秋田(n=37)	5.4	5.4	5.4	2.7	81.1	67.6	64.9	43.2	51.4	94.6
山形(n=40)	5.0	2.5	5.0	0.0	5.0	15.0	25.0	10.0	17.5	95.0
福島(n=45)	4.4	2.2	6.7	0.0	46.7	37.8	46.7	26.7	24.4	93.3
茨城(n=73)	6.8	6.8	5.5	5.5	19.2	37.0	50.7	23.3	23.3	94.5
栃木(n=170)	15.3	14.7	10.0	10.6	15.3	28.8	37.6	22.4	21.8	97.1
群馬(n=36)	41.7	41.7	27.8	38.9	72.2	47.2	50.0	47.2	50.0	94.4
埼玉(n=243)	9.1	9.1	8.6	7.8	36.2	53.1	54.7	36.6	37.0	96.3
千葉(n=310)	9.0	7.1	13.9	10.3	27.4	34.8	38.7	26.1	27.4	94.8
東京(n=451)	15.7	16.0	8.9	11.3	41.7	74.3	73.8	46.3	45.2	97.1
神奈川(n=206)	13.6	13.6	13.1	11.7	26.2	67.5	69.4	38.3	38.3	97.1
新潟(n=110)	0.9	0.9	2.7	2.7	12.7	76.4	78.2	23.6	18.2	98.2
富山(n=67)	10.4	9.0	7.5	3.0	31.3	34.3	32.8	11.9	13.4	98.5
石川(n=178)	7.9	7.9	9.6	6.2	31.5	35.4	38.8	17.4	19.7	98.3
福井(n=10)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	60.0	60.0	60.0	100.0
山梨(n=64)	10.9	9.4	7.8	7.8	15.6	23.4	29.7	23.4	26.6	96.9
長野(n=190)	6.3	5.8	5.8	4.2	32.6	30.5	30.0	4.7	6.8	97.4
岐阜(n=129)	7.0	6.2	7.0	7.0	49.6	56.6	62.0	30.2	22.5	98.4
静岡(n=233)	6.4	6.9	6.4	6.4	21.9	32.6	35.2	24.9	21.0	96.6
愛知(n=411)	9.7	9.0	8.5	8.0	65.2	71.0	71.8	39.4	38.7	95.6
三重(n=265)	9.4	8.3	9.1	7.2	100.0	99.2	98.5	89.8	74.7	95.8
滋賀(n=181)	3.3	2.2	6.1	1.7	12.7	89.5	89.5	24.3	14.9	96.1
京都(n=276)	5.8	5.1	5.4	4.3	20.3	92.8	93.8	33.7	30.4	96.0
大阪(n=289)	15.9	18.0	6.9	9.0	60.2	54.7	60.2	34.9	41.2	97.6
兵庫(n=129)	27.1	25.6	8.5	12.4	51.9	40.3	47.3	34.1	38.8	95.3
奈良(n=81)	6.2	7.4	9.9	7.4	82.7	45.7	50.6	27.2	21.0	98.8
和歌山(n=76)	9.2	9.2	7.9	2.6	28.9	43.4	51.3	15.8	13.2	88.2
鳥取(n=39)	2.6	2.6	5.1	0.0	87.2	43.6	48.7	5.1	25.6	94.9
島根(n=14)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	71.4	92.9	64.3	50.0	100.0
岡山(n=84)	20.2	17.9	14.3	14.3	77.4	27.4	28.6	22.6	27.4	98.8
広島(n=122)	4.9	5.7	4.9	2.5	27.0	58.2	61.5	27.9	32.0	99.2
山口(n=14)	21.4	21.4	14.3	28.6	57.1	78.6	78.6	35.7	28.6	100.0
徳島(n=87)	2.3	2.3	5.7	2.3	50.6	43.7	46.0	27.6	20.7	92.0
香川(n=90)	8.9	8.9	10.0	7.8	13.3	23.3	24.4	12.2	11.1	97.8
愛媛(n=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	66.7	66.7	33.3	33.3	100.0
高知(n=12)	8.3	8.3	0.0	0.0	75.0	41.7	50.0	41.7	50.0	100.0
福岡(n=221)	10.4	9.5	7.2	5.9	91.9	80.5	83.3	26.7	26.7	97.3
佐賀(n=42)	2.4	9.5	7.1	2.4	54.8	35.7	50.0	28.6	33.3	97.6
長崎(n=50)	6.0	4.0	2.0	2.0	62.0	78.0	80.0	38.0	32.0	96.0
熊本(n=74)	13.5	16.2	6.8	9.5	31.1	23.0	35.1	23.0	25.7	100.0
大分(n=62)	1.6	1.6	8.1	1.6	51.6	93.5	90.3	27.4	19.4	98.4
宮崎(n=89)	2.2	1.1	2.2	0.0	96.6	80.9	84.3	23.6	13.5	96.6
鹿児島(n=43)	9.3	9.3	7.0	7.0	37.2	25.6	30.2	11.6	7.0	95.3
沖縄(n=121)	19.8	20.7	13.2	20.7	62.0	64.5	69.4	39.7	38.0	95.0
全国(n=5,899)	10.1	9.9	8.5	7.6	44.5	56.1	59.5	32.2	31.1	96.5

A-10 学校が自ら所有する井戸水等で、専用水道が実施すべき水質検査項目及び遊離残留塩素の実施状況について



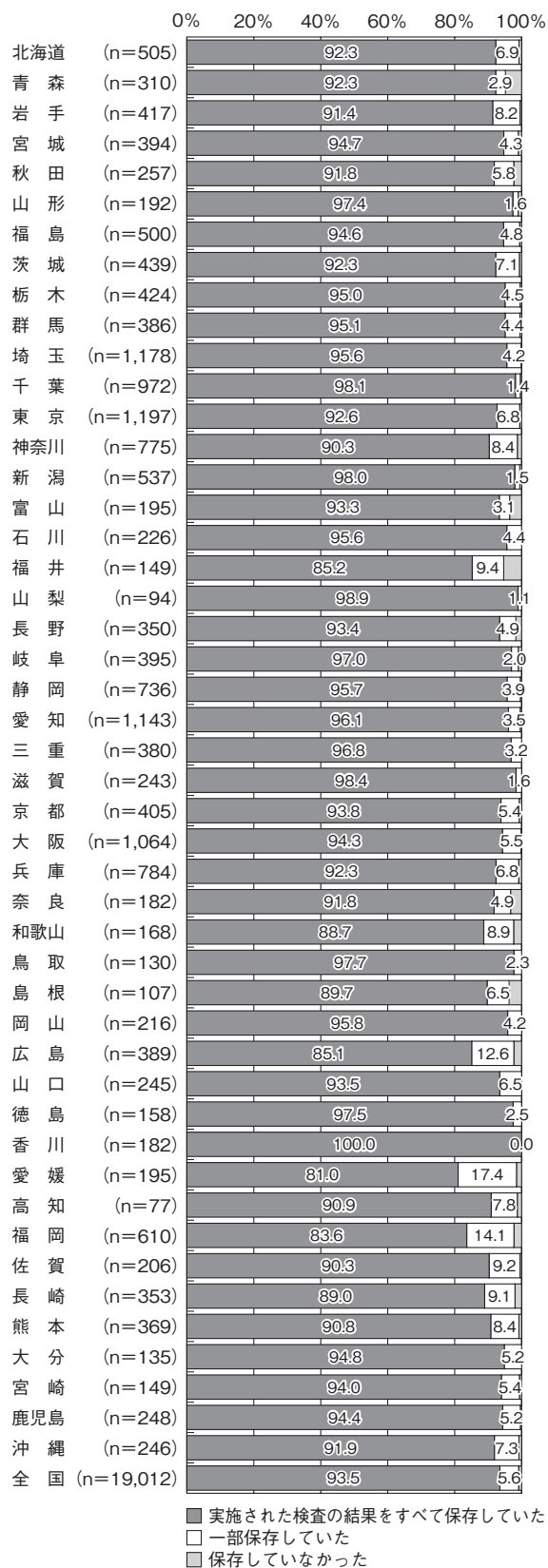
■ 基準に定められたすべての項目を実施した
□ 実施したが、一部実施しなかった項目がある
■ まったく実施しなかった
□ 分からない

A-11 学校が自ら所有する井戸水等で、「専用水道が実施すべき水質検査項目及び遊離残留塩素を実施したが、一部しなかった項目がある」、「まったく実施しなかった」、「分からない」の中で、実施の改善について



■ 学校又は設置者に改善を申し入れた
□ 改善の申し入れを行わなかった

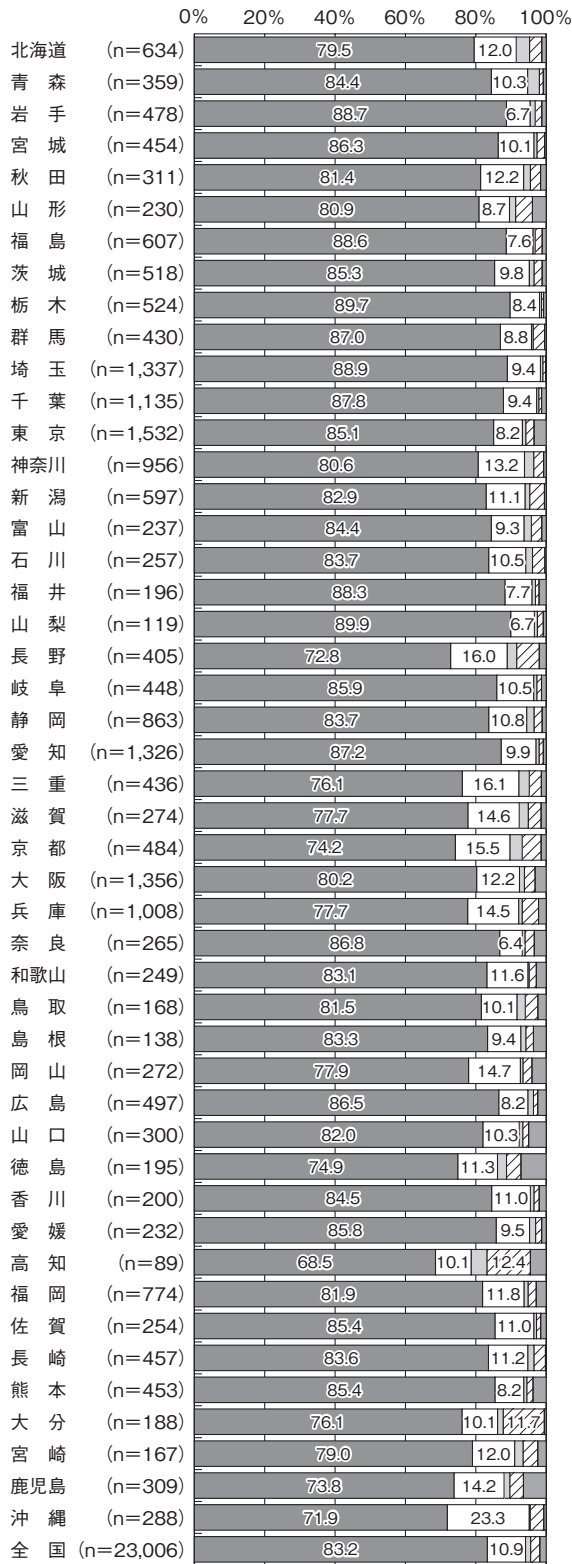
A-12 貯水槽（受水槽、高置水槽等）があり、「学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した」「学校環境衛生検査に基づいた水質検査を実施したが、一部実施しなかった項目がある」及び学校が自ら所有する井戸水等で「基準に定められたすべての項目を実施」「実施したが、一部実施しなかった項目がある」で水質検査結果（過去5年間）の記録の保存について（グラフ数値46ページ）



A-12 貯水槽（受水槽、高置水槽等）があり、「学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した」「学校環境衛生検査に基づいた水質検査を実施したが、一部実施しなかった項目がある」及び学校が自ら所有する井戸水等で「基準に定められたすべての項目を実施」「実施したが、一部実施しなかった項目がある」で水質検査結果（過去5年間）の記録の保存について

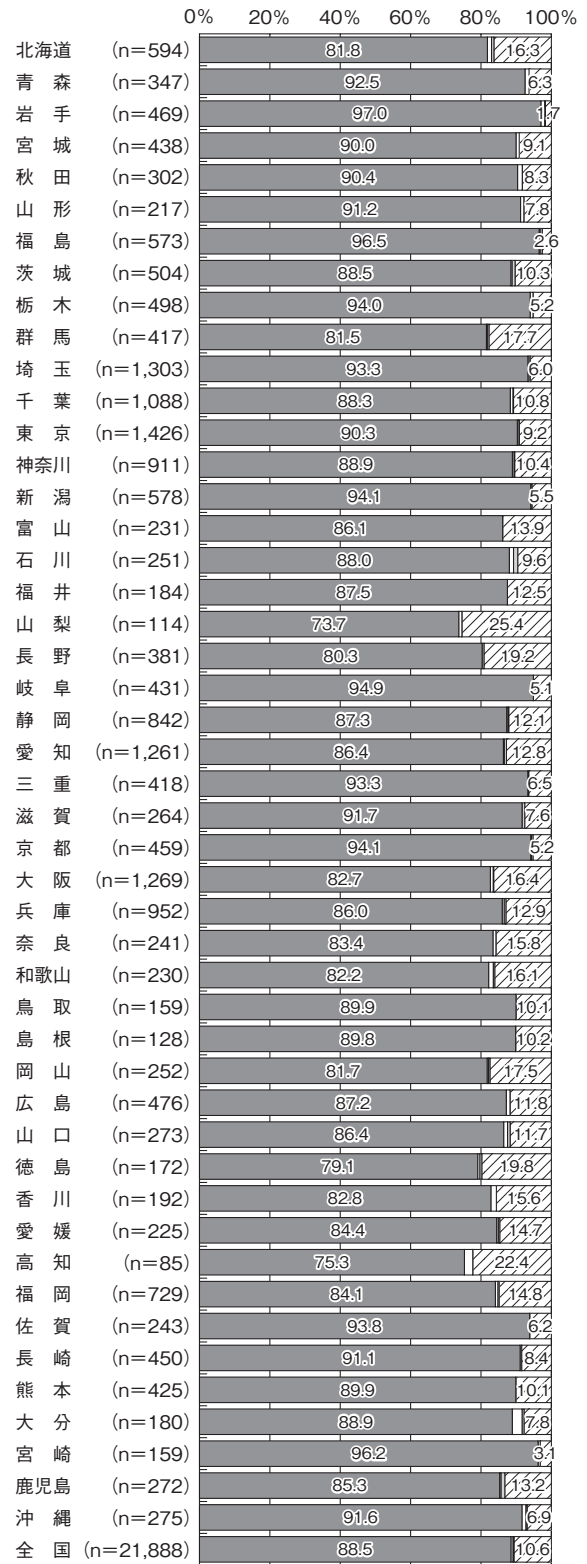
	1. 実施された検査の結果をすべて保存していた	2. 一部保存していた	3. 保存していなかった
北海道(n=505)	92.3	6.9	0.8
青森(n=310)	92.3	2.9	4.8
岩手(n=417)	91.4	8.2	0.5
宮城(n=394)	94.7	4.3	1.0
秋田(n=257)	91.8	5.8	2.3
山形(n=192)	97.4	1.6	1.0
福島(n=500)	94.6	4.8	0.6
茨城(n=439)	92.3	7.1	0.7
栃木(n=424)	95.0	4.5	0.5
群馬(n=386)	95.1	4.4	0.5
埼玉(n=1,178)	95.6	4.2	0.2
千葉(n=972)	98.1	1.4	0.4
東京(n=1,197)	92.6	6.8	0.6
神奈川(n=775)	90.3	8.4	1.3
新潟(n=537)	98.0	1.5	0.6
富山(n=195)	93.3	3.1	3.6
石川(n=226)	95.6	4.4	0.0
福井(n=149)	85.2	9.4	5.4
山梨(n=94)	98.9	1.1	0.0
長野(n=350)	93.4	4.9	1.7
岐阜(n=395)	97.0	2.0	1.0
静岡(n=736)	95.7	3.9	0.4
愛知(n=1,143)	96.1	3.5	0.4
三重(n=380)	96.8	3.2	0.0
滋賀(n=243)	98.4	1.6	0.0
京都(n=405)	93.8	5.4	0.7
大阪(n=1,064)	94.3	5.5	0.2
兵庫(n=784)	92.3	6.8	0.9
奈良(n=182)	91.8	4.9	3.3
和歌山(n=168)	88.7	8.9	2.4
鳥取(n=130)	97.7	2.3	0.0
島根(n=107)	89.7	6.5	3.7
岡山(n=216)	95.8	4.2	0.0
広島(n=389)	85.1	12.6	2.3
山口(n=245)	93.5	6.5	0.0
徳島(n=158)	97.5	2.5	0.0
香川(n=182)	100.0	0.0	0.0
愛媛(n=195)	81.0	17.4	1.5
高知(n=77)	90.9	7.8	1.3
福岡(n=610)	83.6	14.1	2.3
佐賀(n=206)	90.3	9.2	0.5
長崎(n=353)	89.0	9.1	2.0
熊本(n=369)	90.8	8.4	0.8
大分(n=135)	94.8	5.2	0.0
宮崎(n=149)	94.0	5.4	0.7
鹿児島(n=248)	94.4	5.2	0.4
沖縄(n=246)	91.9	7.3	0.8
全国(n=19,012)	93.5	5.6	0.9

B-1 飲料水の貯水槽設置の形態について(グラフ数値48ページ)



- 架台上にあり全外観をみることができる
- 底面、あるいは一部の面が地面、建物に接しているため外観をみることができない部分がある
- 全体、あるいは一部が地中に埋め込んである
- ▨ その他
- 直結給水のみで貯水槽がない

B-2 飲料水の貯水槽内部の清掃について(グラフ数値49ページ)



- 毎年1回
- 2年に1回
- 3年以上に1回
- ▨ 分からない

B-1 飲料水の貯水槽設置の形態について

	1. 架台上にあり全 外観をみるこ とができる	2. 底面、あるいは一部の面 が地面、建物に接してい るため外観をみるこ とができない部分がある	3. 全体、あるいは 一部が地中に埋 め込んである	4. その他	5. 直結給水のみで 貯水槽がない
北海道(n=634)	79.5	12.0	3.8	3.5	1.3
青森(n=359)	84.4	10.3	3.3	1.1	0.8
岩手(n=478)	88.7	6.7	1.5	1.9	1.3
宮城(n=454)	86.3	10.1	0.9	2.2	0.4
秋田(n=311)	81.4	12.2	1.9	2.9	1.6
山形(n=230)	80.9	8.7	1.7	4.8	3.9
福島(n=607)	88.6	7.6	0.7	2.0	1.2
茨城(n=518)	85.3	9.8	1.4	2.3	1.2
栃木(n=524)	89.7	8.4	0.6	0.6	0.8
群馬(n=430)	87.0	8.8	0.5	3.3	0.5
埼玉(n=1,337)	88.9	9.4	0.7	0.8	0.1
千葉(n=1,135)	87.8	9.4	0.6	0.8	1.3
東京(n=1,532)	85.1	8.2	1.0	2.3	3.5
神奈川(n=956)	80.6	13.2	2.6	2.8	0.7
新潟(n=597)	82.9	11.1	1.3	4.2	0.5
富山(n=237)	84.4	9.3	2.1	3.0	1.3
石川(n=257)	83.7	10.5	1.9	3.5	0.4
福井(n=196)	88.3	7.7	1.0	1.0	2.0
山梨(n=119)	89.9	6.7	0.8	1.7	0.8
長野(n=405)	72.8	16.0	2.7	6.4	2.0
岐阜(n=448)	85.9	10.5	0.9	1.3	1.3
静岡(n=863)	83.7	10.8	2.1	2.3	1.2
愛知(n=1,326)	87.2	9.9	0.9	1.2	0.8
三重(n=436)	76.1	16.1	3.0	3.4	1.4
滋賀(n=274)	77.7	14.6	2.6	3.6	1.5
京都(n=484)	74.2	15.5	3.5	5.4	1.4
大阪(n=1,356)	80.2	12.2	1.4	3.0	3.2
兵庫(n=1,008)	77.7	14.5	1.0	4.7	2.2
奈良(n=265)	86.8	6.4	0.8	2.6	3.4
和歌山(n=249)	83.1	11.6	0.4	2.0	2.8
鳥取(n=168)	81.5	10.1	2.4	3.6	2.4
島根(n=138)	83.3	9.4	1.4	2.2	3.6
岡山(n=272)	77.9	14.7	0.7	2.6	4.0
広島(n=497)	86.5	8.2	1.6	1.2	2.4
山口(n=300)	82.0	10.3	1.0	1.7	5.0
徳島(n=195)	74.9	11.3	2.6	4.1	7.2
香川(n=200)	84.5	11.0	1.0	1.5	2.0
愛媛(n=232)	85.8	9.5	1.7	1.7	1.3
高知(n=89)	68.5	10.1	4.5	12.4	4.5
福岡(n=774)	81.9	11.8	1.2	2.3	2.8
佐賀(n=254)	85.4	11.0	0.8	1.2	1.6
長崎(n=457)	83.6	11.2	1.8	3.3	0.2
熊本(n=453)	85.4	8.2	0.9	1.8	3.8
大分(n=188)	76.1	10.1	1.6	11.7	0.5
宮崎(n=167)	79.0	12.0	2.4	4.2	2.4
鹿児島(n=309)	73.8	14.2	1.6	3.9	6.5
沖縄(n=288)	71.9	23.3	0.3	3.8	0.7
全国(n=23,006)	83.2	10.9	1.5	2.6	1.8

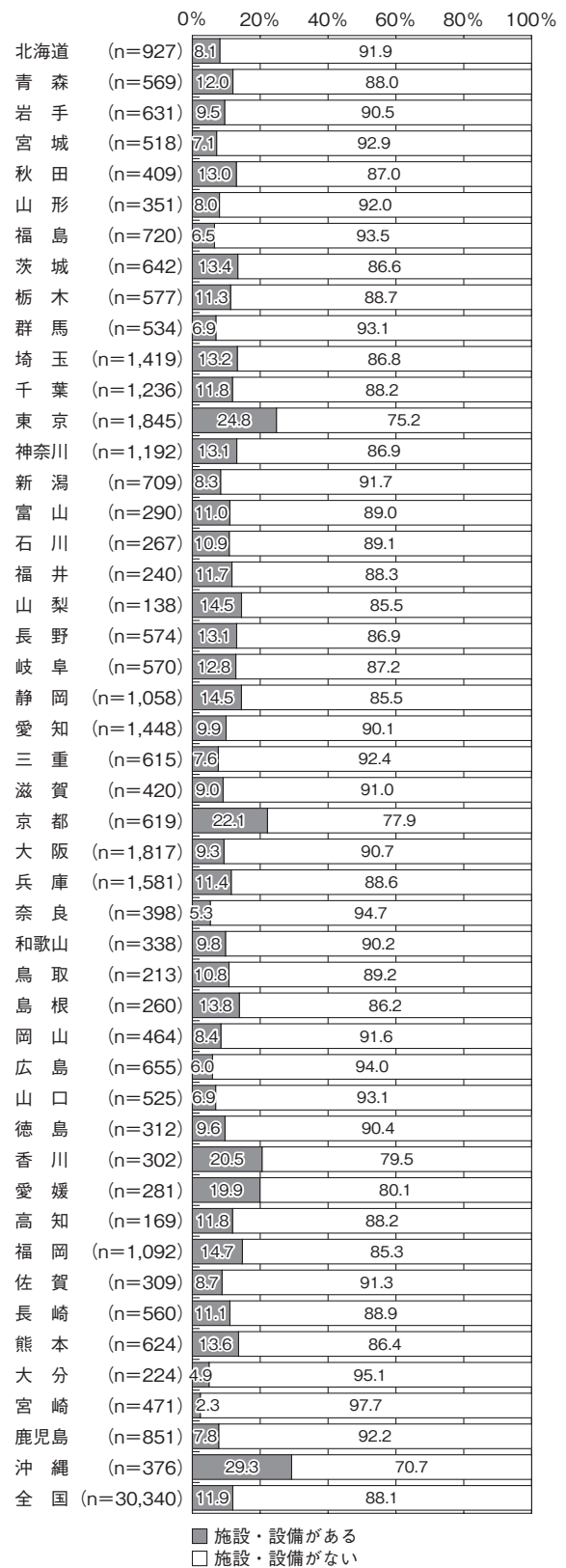
B-2 飲料水の貯水槽内部の清掃について

	1. 毎年1回	2. 2年に1回	3. 3年以上に1回	4. 分からない
北海道(n=594)	81.8	1.2	0.7	16.3
青森(n=347)	92.5	1.2	0.0	6.3
岩手(n=469)	97.0	1.1	0.2	1.7
宮城(n=438)	90.0	0.9	0.0	9.1
秋田(n=302)	90.4	1.3	0.0	8.3
山形(n=217)	91.2	0.9	0.0	7.8
福島(n=573)	96.5	0.3	0.5	2.6
茨城(n=504)	88.5	0.4	0.8	10.3
栃木(n=498)	94.0	0.8	0.0	5.2
群馬(n=417)	81.5	0.2	0.5	17.7
埼玉(n=1,303)	93.3	0.4	0.3	6.0
千葉(n=1,088)	88.3	0.7	0.2	10.8
東京(n=1,426)	90.3	0.4	0.1	9.2
神奈川(n=911)	88.9	0.4	0.2	10.4
新潟(n=578)	94.1	0.3	0.0	5.5
富山(n=231)	86.1	0.0	0.0	13.9
石川(n=251)	88.0	1.2	1.2	9.6
福井(n=184)	87.5	0.0	0.0	12.5
山梨(n=114)	73.7	0.9	0.0	25.4
長野(n=381)	80.3	0.0	0.5	19.2
岐阜(n=431)	94.9	0.0	0.0	5.1
静岡(n=842)	87.3	0.4	0.2	12.1
愛知(n=1,261)	86.4	0.2	0.6	12.8
三重(n=418)	93.3	0.2	0.0	6.5
滋賀(n=264)	91.7	0.0	0.8	7.6
京都(n=459)	94.1	0.2	0.4	5.2
大阪(n=1,269)	82.7	0.8	0.2	16.4
兵庫(n=952)	86.0	0.5	0.5	12.9
奈良(n=241)	83.4	0.8	0.0	15.8
和歌山(n=230)	82.2	1.3	0.4	16.1
鳥取(n=159)	89.9	0.0	0.0	10.1
島根(n=128)	89.8	0.0	0.0	10.2
岡山(n=252)	81.7	0.4	0.4	17.5
広島(n=476)	87.2	1.1	0.0	11.8
山口(n=273)	86.4	1.1	0.7	11.7
徳島(n=172)	79.1	0.6	0.6	19.8
香川(n=192)	82.8	1.6	0.0	15.6
愛媛(n=225)	84.4	0.4	0.4	14.7
高知(n=85)	75.3	2.4	0.0	22.4
福岡(n=729)	84.1	0.7	0.4	14.8
佐賀(n=243)	93.8	0.0	0.0	6.2
長崎(n=450)	91.1	0.0	0.4	8.4
熊本(n=425)	89.9	0.0	0.0	10.1
大分(n=180)	88.9	2.8	0.6	7.8
宮崎(n=159)	96.2	0.0	0.6	3.1
鹿児島(n=272)	85.3	0.4	1.1	13.2
沖縄(n=275)	91.6	1.1	0.4	6.9
全国(n=21,888)	88.5	0.6	0.3	10.6

B-3 受水槽の周りの状況について（グラフ数値51ページ）



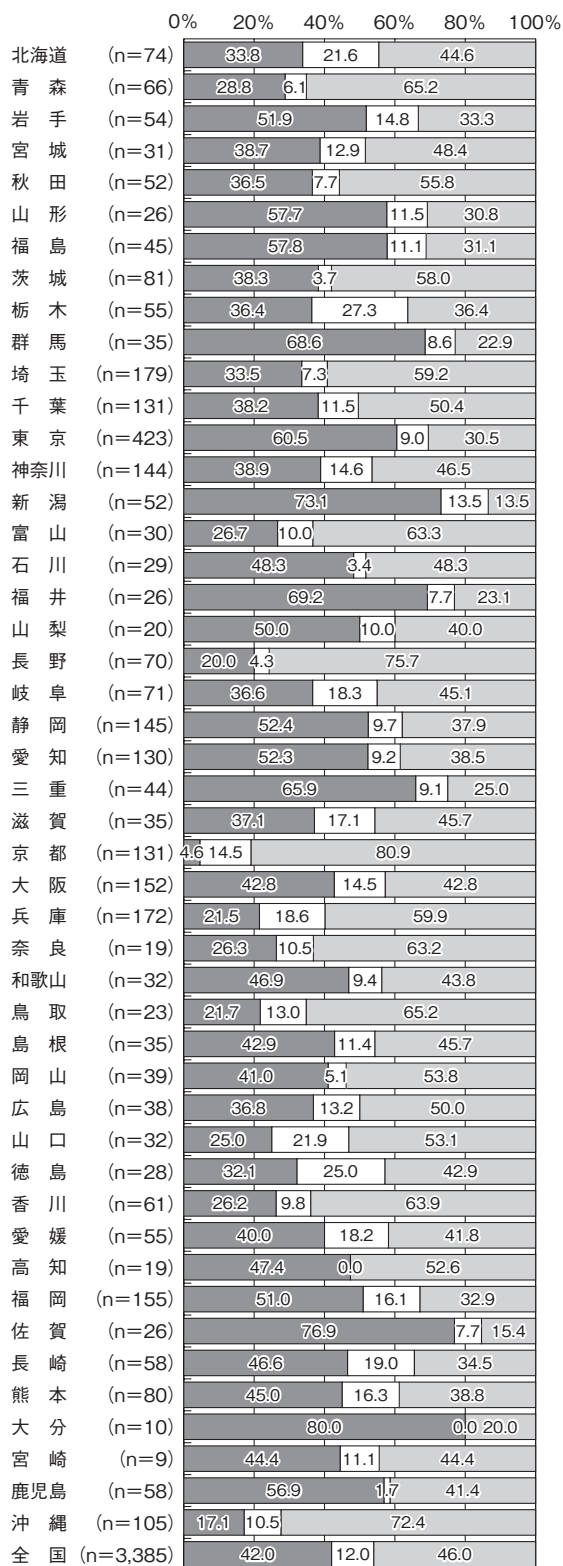
C-1 雑用水に関する施設について



B-3 受水槽の周りの状況について

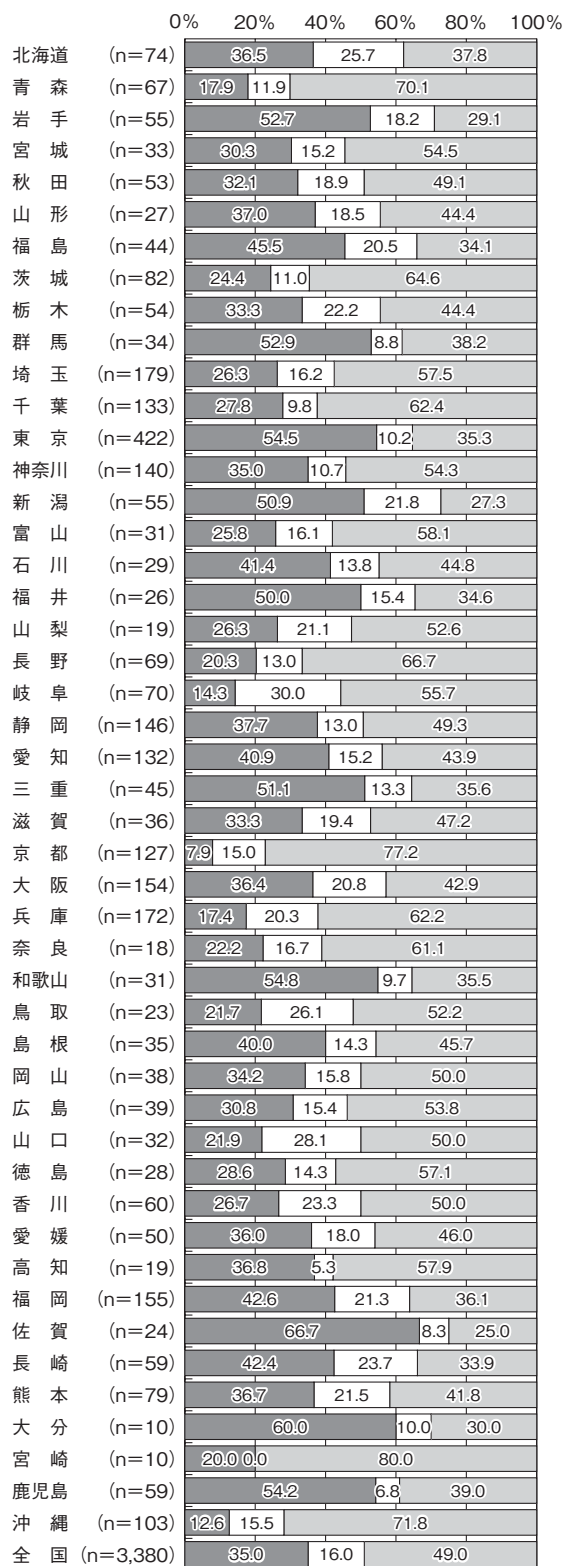
	1. 清潔である	2. 清潔でない	3. みることができない
北海道(n=602)	96.3	0.7	3.0
青森(n=347)	95.1	1.2	3.7
岩手(n=467)	96.6	1.3	2.1
宮城(n=439)	95.7	0.5	3.9
秋田(n=299)	93.3	1.7	5.0
山形(n=217)	93.5	0.9	5.5
福島(n=587)	97.6	0.3	2.0
茨城(n=500)	95.8	1.2	3.0
栃木(n=499)	99.2	0.4	0.4
群馬(n=418)	93.5	0.5	6.0
埼玉(n=1,309)	95.5	1.1	3.4
千葉(n=1,091)	95.1	1.4	3.5
東京(n=1,419)	93.2	1.1	5.7
神奈川(n=917)	90.8	1.4	7.7
新潟(n=560)	95.2	1.6	3.2
富山(n=227)	93.8	0.9	5.3
石川(n=249)	92.4	0.8	6.8
福井(n=186)	95.7	1.6	2.7
山梨(n=113)	88.5	2.7	8.8
長野(n=372)	90.9	1.6	7.5
岐阜(n=428)	97.2	0.5	2.3
静岡(n=833)	91.4	1.6	7.1
愛知(n=1,281)	92.8	2.2	5.0
三重(n=412)	92.7	0.7	6.6
滋賀(n=262)	91.2	1.9	6.9
京都(n=453)	87.2	3.1	9.7
大阪(n=1,268)	87.5	0.9	11.7
兵庫(n=943)	85.4	1.4	13.3
奈良(n=241)	89.6	2.1	8.3
和歌山(n=229)	87.3	1.7	10.9
鳥取(n=161)	91.9	1.2	6.8
島根(n=131)	90.8	0.8	8.4
岡山(n=252)	86.9	2.0	11.1
広島(n=469)	88.3	1.7	10.0
山口(n=269)	89.2	0.4	10.4
徳島(n=175)	85.1	0.6	14.3
香川(n=195)	90.8	1.5	7.7
愛媛(n=223)	95.1	0.0	4.9
高知(n=80)	81.3	2.5	16.3
福岡(n=720)	89.0	1.4	9.6
佐賀(n=242)	94.2	1.2	4.5
長崎(n=440)	89.3	0.7	10.0
熊本(n=426)	91.3	0.9	7.7
大分(n=176)	90.9	1.1	8.0
宮崎(n=160)	83.1	2.5	14.4
鹿児島(n=266)	91.4	0.8	7.9
沖縄(n=272)	86.4	1.5	12.1
全国(n=21,825)	92.2	1.2	6.6

C-2 雑用水の水質検査について



■ 基準に定められたすべての項目 (pH値・臭気・外観・大腸菌・遊離残留塩素) を実施した
 □ 一部実施していない項目がある
 ▨ まったく実施していない

C-3 雑用水の日常点検について



■ 基準に定められたすべての項目 (遊離残留塩素・外観・臭気) を実施した
 □ 一部実施していない項目がある
 ▨ まったく実施していない